

## 成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ア-①	各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合	%	28.6	39			35	495.2%	目標達成
			計画値					
			30.7	32.9	35			
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課							
達成状況の説明								
<p>令和4年度のしまくとぅば県民意識調査によると、「しまくとぅば」の使用頻度について、挨拶以上使うとした人の割合は、39.0%であり、令和3年度の28.6%から増加している。</p>								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	「各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進」の施策に係る「主な取組」において、計画で掲げた目標値をほぼ達成していることから、各種取組を多角的に推進した結果、「しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合」の増加に繋がったと考える。							
対応案								
<p>令和5年度以降もしまくとぅば普及の中核的機能を担う「しまくとぅば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、県民のしまくとぅばを聞く機会や話す機会の創出に取り組む。</p>								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組				
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	「しまくとぅばアーカイブ」の作成	対応課 文化振興課
成果指標への寄与の状況	文法調査票44冊、教材の作成1セット、歌50曲、文学的文章50編、自然談話2話の収集・収録を計画どおり行い、成果指標に寄与している。			
要因分析	計画どおりの進捗ができたこと。			
対応案	収集対象地域の話者の高齢化により、今後調査を進める上で、収集地域の変更等が必要となってくる場合が想定されるため、県、受託者、対象地域の話者と連携体制を強化する。			
関連する主な取組				
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	しまくとぅば講師養成講座の実施	対応課 文化振興課
成果指標への寄与の状況	講座実施回数目標値60回に対し、実施回数は、北部上級28回、八重山中級30回の計58回であり、そのうち合計者は42名であった。今後のしまくとぅばの普及継承の一躍を担う人材の育成が図られたことにより、成果指標に寄与している。			
要因分析	計画どおりの進捗ができたこと。			
対応案	県民のしまくとぅば使用頻度の更なる向上のため、「しまくとぅば講師養成講座」の受講生の増加を促す観点から、これまでの対面での講座に加えて、オンライン聴講も実施する。			

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	しまくとうば検定の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	検定の受検者目標値1,000名に対し、受験者数は922名であった。受験者数は増加傾向にあり、成果指標に寄与している。				
要因分析	7級から9級までのしまくとうば検定をオンラインで実施し、県民の利便性向上に資するものとした。				
対応案	一層のしまくとうばの認知度向上や県民の利便性向上のため、時間や場所を選ばず自由に学習・検定が可能な「Eラーニング検定（仮称）」を令和5年度から新たに実施する。				

## 成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ア-②		伝統芸能の継承・発展						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数	人	4,750	35,783			12,000	1,285.5%	目標達成	
			計画値						
			7,164	9,586	12,000				
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課								
達成状況の説明									
各種公演が開催されることで、参加者が増加し、目標値を達成した。									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	各種公演が開催されることにより、伝統芸能の魅力発信、鑑賞機会の提供、若手実演家の育成等を通じた、伝統芸能の継承と発展に寄与することができた。								
② 社会経済情勢	新型コロナウイルスの蔓延により海外公演の実施を控えた。								
対応案									
引き続き、各種県外公演の開催にむけて関係団体を支援していくとともに、新型コロナウイルスの蔓延防止のため実施を控えていた海外公演についても実施していく。									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-②	主な取組名	伝統芸能の県外公演	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	県外公演を行うことにより、沖縄伝統芸能の魅力を発信することができた。				
要因分析	沖縄伝統芸能の魅力を発信することにより、参加者数の増加が期待できる。				
対応案	効果的な公演の実施方法等を検討しながら、引き続き公演を実施していく。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-②	主な取組名	伝統芸能公演への支援	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	国立劇場おきなわを始め、県内各地での公演実施を通じ、伝統芸能の保有者が活躍できる場を提供することができ、若手実演家の育成が図られた。				
要因分析	若手実演家の公演機会を提供することにより、参加者数の増加が期待できる。				
対応案	情報発信等の強化・改善を図りつつ、引き続き公演を実施していく。				

## 成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ア-③		伝統文化の保存・継承・発展						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
市町村文化協会会員数	名	11,844	10,737			14,000	-154.2%	達成に努める	
			計画値						
			12,562	13,282	14,000				
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課								
達成状況の説明									
<p>市町村文化協会会員数は、会員の高齢化により年々減少傾向にあることに加え、直近の令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響による地域の文化活動の休止に伴い、更にその会員数を減少させている。今後も高齢化等により担い手の減少が見込まれる中においては、まずはコロナ禍の前の水準に戻した上で、コロナ禍前（令和元年度）の活動水準を維持することを最優先に取り組む。</p>									
要因分析									
類型	説明								
⑪ 高齢化・後継者不足	会員の高齢化により年々減少傾向にある。								
⑫ 社会経済情勢	新型コロナウイルス感染症の影響による地域の文化活動の休止に伴い、更にその会員数を減少させている。								
対応案									
<p>今後も高齢化等により担い手の減少が見込まれることから、コロナ禍前（令和元年度）の活動水準を維持することを最優先に取り組む。文化協会の活性化を図り、県内各地域における次世代の担い手の育成やその魅力を再認識させる取組を行うことで、伝統的な文化の継承を図る。</p>									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-③	主な取組名	地域伝統芸能を集めた公演	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	公演に出演する文化団体と市町村文化協会との連携強化が図られるとともに、公演の観覧者が市町村の文化活動に関心を持つことに繋がったと考えられる。				
要因分析	各地域の伝統文化の魅力を再認識してもらうことにより、一定程度、伝統的な文化の保存・継承に寄与したものと考えられる。				
対応案	引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、地域の伝統芸能等を集めた公演を行う。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-③	主な取組名	地域や島でのシンポジウムや座談会の開催	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	座談会の開催を通じて、市町村の文化活動に関心を持つことに繋がったと考えられる。				
要因分析	地域の伝統芸能等に関するテーマを取り上げた座談会の開催を通じて、一定程度、伝統的な文化の継承に寄与したものと考えられる。				
対応案	引き続き、地域の伝統文化を見つめ直すよう機運醸成を図る。				

## 成果指標 検証票

施策名	1-(4)-イ-①		創造的文化芸術の発展を担う人材の育成						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
沖縄県立芸術大学の卒業生数（累計）	人	4,011	4,303			4,542	165.0%	目標達成の見込み	
			計画値						
			4,188	4,365	4,542				
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課								
達成状況の説明									
<p>令和4年の実績としては、コロナ禍で休学していた学生が復学する等の状況もあり、計画値を上回る卒業生数となった。引き続き、大学運営の改善を行うほか、施設整備を計画的に実施するなど、良好な教育環境の確保に努める。</p>									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	合同企業説明会の開催や、運営費交付金の交付を通じて、良好な教育環境の確保に努めた。								
② 社会経済情勢	コロナ禍で休学していた学生が復学する等の状況もあり、計画値を上回る卒業生数となった。								
対応案									
引き続き、大学運営の改善を行うほか、施設整備を計画的に実施するなど、良好な教育環境の確保に努める。									



(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-①	主な取組名	沖縄県立芸術大学における就職支援	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	合同企業説明会の開催、オンラインでの就職指導、セミナーの開催等の就職支援を行った。就職が決定した学生は、より学業に専念できることから、卒業に繋がったと考えられる。				
要因分析	合同企業説明会の開催など、就職支援としてキャリア教育を実践することで、一定程度、卒業者数の増につながったものと考えられる。				
対応案	引き続き、多数の企業説明会を開催するなど、卒業後・修了後の就職に向けた支援を行う。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-①	主な取組名	沖縄県立芸術大学における教育研究活動の推進	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	運営費交付金の交付を通じて大学の運営支援を行うことにより、安全かつ安心な教育研究環境の整備を行い、学生の学修意欲や教育効果を高めることができたと考えられる。				
要因分析	学長となる理事長のトップマネジメントにより、法人全体の視点に立った迅速な意思決定や、効果的かつ効率的な予算等の配分など、戦略的で機動的な業務運営が行われている。				
対応案	引き続き、運営費交付金の交付を通じて財務面で大学の運営支援を行うことにより、安全かつ安心な教育研究環境の整備を行っていく。				

## 成果指標 検証票

施策名	1-(4)-イ-②		県民等の文化芸術活動の充実						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
国立劇場おきなわの入場者数	人	16,156	35,608			54,800	151.2%	目標達成	
			計画値						
			29,024	41,932	54,800				
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課								
達成状況の説明									
令和4年度の入場者数は35,608人であり、計画値を達成した。									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	令和4年度は全ての公演を実施し、来場者も回復傾向にあることから入場者数が計画を上回った。								
対応案									
<p>入場率の向上を目指し、自主公演についてはホームページやSNSによる広報配信や、県内自治会等への自主公演リーフレット及び公演チラシを送付し、誘客を図る。</p> <p>施設利用による貸公演については、ホームページに利用案内及び使用可能日を掲出し、利用希望者には随時申込手続きの説明や施設・設備の見学会を開催し、利用者の増加に努める。</p>									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	国立劇場おきなわでの自主公演鑑賞団体を対象とした貸切バス費用の助成等を実施したことで、目標値を超える団体数へ助成を行い、伝統芸能鑑賞に繋げることができた。				
要因分析	貸切バス費用の助成等を実施したことで、普段伝統芸能の鑑賞層を広げるとともに、鑑賞者の増加にも繋がったと推測される。				
対応案	今後も鑑賞層の拡大に繋げるために、引き続き自主公演鑑賞団体を対象とした貸切バス費用の助成等を実施する。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	文化振興事業費	対応課	文化財課
成果指標への寄与の状況	文化庁による鑑賞機会提供事業および県事業の宮古島市における音楽鑑賞会の実施した結果、実績値が目標を達成したと考えられる。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて多くの公演が実施された。鑑賞者は児童生徒24,950人であり、効果がみられる。				
対応案	県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、学校が希望する日程やニーズに対応できるように今後も支援する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	青少年文化活動事業費	対応課	文化財課
成果指標への寄与の状況	本県の中学校や高校の総合文化祭への大会運営費補助や各文化連盟が行う派遣費助成へ補助することで、文化活動の発表の場を確保した。各分野の技術向上と充実を図った結果、実績値が目標を達成したと考えられる。				
要因分析	感染症予防から中止やネット開催等となる大会もあったが、大会参加者や離島生徒の派遣費補助数は昨年度を上回り、その効果が現れている。				
対応案	中文連、高文連に対して、新型コロナウイルス感染症に係るイベント等実施ガイドライン等の周知、支援し、継続できる大会開催につなげる。				

## 成果指標 検証票

施策名	1-(4)-イ-③	文化資源を活用した地域づくり						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数	件	115	127			142	133.3%	目標達成の見込み
			計画値					
			124	133	142			
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課							
達成状況の説明								
令和4年度の実績は127件となり計画値を超える件数となった。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	実績値の更なる伸長のため、関連する主な取組を継続し実施する。							
対応案								
今後も、関連する取組等を着実に実施することで、文化関係団体や企業等による文化芸術の支援を促進させ、文化資源を活用した地域づくりを図る。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-③	主な取組名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	市町村や関連団体とともに歴史と文化への理解を深めるための関連事業を105件実施し、成果指標の目標達成に寄与した。				
要因分析	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業の実施については、順調な進捗である。				
対応案	「琉球歴史文化の日」について情報発信等により県民の認知度を上げることで、文化資源を活用した地域づくりにつなげる。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-③	主な取組名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	文化団体が宿泊施設等で実施する文化体験プログラムを支援した。(開催回数6回、参加者数438人)				
要因分析	文化体験プログラムの実施により、文化団体の活動機会を確保するほか、文化団体等と宿泊施設等観光事業者をつなぐことにより連携が促進され、今後の文化活動の機会の増が見込まれる。				
対応案	文化体験プログラムについて、これまで以上に観光事業者等へ周知を図ることにより、文化体験プログラムの実施回数や参加者数の増加を図る。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-③	主な取組名	文化芸術関係団体等への助成	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	県内文化団体等へ22件の助成を行うことにより、成果指標の目標達成に寄与した。				
要因分析	補助事業の内容について、説明会やセミナーの開催等で周知を図ることで、支援件数を確保することができた。				
対応案	引き続き、沖縄文化芸術の創造発信支援事業による文化団体等への支援を実施することで、文化資源を活用した地域づくりにつなげる。				

## 成果指標 検証票

施策名	1-(4)-イ-④		文化芸術活動を支える基盤の強化						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
県内文化施設の稼働状況	%	31.6	54.9			55	298.7%	目標達成の見込み	
			計画値						
			39.4	47.2	55				
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課								
達成状況の説明									
<p>「琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う催物等への公共施設の無料開放」や「企業の文化芸術に対する支援の促進」が寄与し、令和4年度の県内文化施設の稼働率は54.9%となり、計画値を達成した。</p>									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	実績値の更なる伸長のため、県内文化施設の稼働率向上に向けた取組を実施していく必要がある。								
対応案									
文化発信交流拠点の充実に係る調査を実施し、必要な施策を検討する。									



(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う催物等への公共施設の無料開放	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	令和4年度は、琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う催物等について、5件、県有施設の無料開放を実施した。				
要因分析	施設を開放し文化関連イベントを実施することで、県民の文化への関心が高まり、文化施設稼働率の向上に寄与している。				
対応案	琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施することにより、県民の文化への関心を高め、イベントの増につなげていく。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	文化発信交流拠点の充実	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	令和4年度は、必要となる施策を検討するための事業を予算化した。				
要因分析	成果指標への寄与は、後年度となる。(調査業務実施後)				
対応案	令和5年度は、文化発信交流拠点の充実に係る調査委託業務を実施し、効果的な施策を検討する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	企業の文化芸術に対する支援の促進	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	令和4年度は、県外の財団などが県内の文化団体等に対して行う助成等の件数が13件あった。				
要因分析	文化芸術活動を支援し、文化芸術活動の基盤を強化することで、県内文化施設の稼働率の向上に寄与した。				
対応案	引き続き、企業の文化芸術に対する支援を促進することで、文化芸術活動を支える基盤の強化を図る。				

## 成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ウ-①		沖縄空手の指導者及び後継者の育成					
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県内空手道場における門下生数（1道場あたりの平均）	人	32	23.1			36	-890.0%	達成に努める
			計画値					
			33	35	36			
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課							
達成状況の説明								
令和4年度は、計画値33.3人に対し実績値23.1人とどまり、令和2年度基準値を大きく下回った。								
要因分析								
類型	説明							
⑥ その他個別要因	新型コロナウイルス感染症の影響により、3密回避のため稽古への参加人数が少なくなった、対面での稽古ができなくなった道場が多く、門下生数の減少に繋がっている。							
対応案								
感染症に影響されないよう、道場とオンラインを併用した稽古を推進していく。また、継続的に指導者を育成するとともに、学校への講師派遣を行い、門下生数の増加を図る。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-①	主な取組名	指導者の育成	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手の各流派に通底する沖縄空手の本質、共通する鍛錬法や指導方法などを取りまとめ、県内若手指導者が空手入門者に指導する際の体系書を策定し、指導者の育成を図った。				
要因分析	指導者の育成を図ることで門下生数の増加にも寄与するものであるが、門下生数の減少は新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったため、成果指標が未達成となっている。				
対応案	引き続き、当取組により指導者の育成を継続的に行っていく。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-①	主な取組名	国内への指導者の派遣	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	空手指導者を国内外に派遣し、現地で空手演武、交流演武、セミナー等を行うことで、指導者及び継承者の育成を図った。				
要因分析	指導者の育成を図ることで門下生数の増加にも寄与するものであるが、門下生数の減少は新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったため、成果指標が未達成となっている。				
対応案	海外・国内へ派遣する空手指導者について、委託事業では派遣人数が最少人数となるため、より多くの指導者を海外・国内へ派遣する必要があることから、補助事業として派遣指導者への旅費補助へと制度変更することを検討する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-①	主な取組名	学校への講師の派遣	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	幼少期から空手に触れる機会を創出するため、県内小中高校へ空手指導者を派遣し、出前講座を実施している。令和4年度は、県内小学校6校、中学校1校に空手指導者を派遣し、計759名の児童生徒が参加した。				
要因分析	派遣先の学校に対して、近隣の市町村に道場を持つ指導者を派遣したが、子ども向けに指導できる指導者が不足しており、派遣者選定に課題が残った。				
対応案	幼少期の子どもに空手に触れる機会を創出する観点から、子どもに対して体験レベルの指導ができるよう指導者の育成を図る。				

## 成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ウ-②		沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率	%	36.8	30.8			55	-98.4%	達成に努める	
			計画値						
			42.9	48.9	55				
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課								
達成状況の説明									
<p>イベントの観覧者へは「空手発祥の地・沖縄」を普及できているが、イベント外（観覧していない人、イベント開催地以外の地域）の一般層への普及活動ができていないため、目標達成に至らなかった。</p>									
要因分析									
類型	説明								
⑤ 周知・啓発不足等	イベント外（観覧していない人、イベント開催地以外の地域）の一般層への普及活動ができていないため、県外に幅広く情報発信を行う必要がある。								
対応案									
<p>県外イベントでの空手演武を実施するにあたって、より多くの人々に観覧してもらえるよう情報発信を行うとともに、SNSの活用や沖縄空手映像コンテンツ制作等、イベント外の一般層にも普及できるよう広報の充実を図る。</p>									

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-②	主な取組名	沖縄空手の普及・啓発	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	新型コロナウイルス感染症の影響から、県外でのイベント開催が十分に実施できない状況となっている。9月に開催された「ツーリズムEXPOジャパン 2022」での空手演武ステージ及びPRブース出展においては、2208名が来場者アンケートに回答し、うち56.7%の方が空手発祥の地が沖縄県であることを認知していた。				
要因分析	イベントの観覧者へは「空手発祥の地・沖縄」を普及できているが、イベント外（観覧していない人、イベント開催地以外の地域）の一般層への普及活動ができていないため、県外に幅広く情報発信を行う必要がある。				
対応案	県外イベントでの空手演武を実施するにあたって、より多くの人々に観覧してもらえるよう情報発信を行うとともに、イベント外の一般層にも普及できるよう広報の充実を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-②	主な取組名	沖縄空手関連コンテンツの制作	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	映像制作会社・メディア等と連携した伝統文化としての沖縄空手の価値等の啓発、観光等に資する沖縄空手映像コンテンツ制作を行うことで、「空手発祥の地・沖縄」の発信強化を図る。				
要因分析	令和5年度新規事業として「空手ツーリズム受入体制構築事業」を立ち上げ、空手を組み込んだツーリズム商品の開発に取り組んでいる。 また、沖縄空手産業連携構築支援事業については、交付要綱の調整に時間がかかり、公募開始時期が遅れた。				
対応案	令和5年度新規事業である「空手ツーリズム受入体制構築事業」において、観光関連事業者と連携し、新たなツーリズム商品の開発に取り組む。 また、沖縄空手産業連携構築支援事業については、多くの事業者が応募してくれるよう、早めに公募を開始し、公募期間を長く設定する。				

(様式3) 「成果指標」検証票



## 成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ウ-③	沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県外・海外からの空手関係者来訪数	人	71	1,971			12,700	45.2%	達成に努める
			計画値					
			4,276	8,495	12,700			
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課							
達成状況の説明								
新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外からの来沖が制限されたため、未達成となった。								
要因分析								
類型	説明							
⑫ 社会経済情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降は空手関係者来訪数が低迷しているが、令和5年5月より5類感染症に移行したことにより、今後は空手関係者来訪数も増加することが予想される。							
対応案								
引き続き、世界大会の実施やイベントの開催を行うとともに、「空手発祥の地・沖縄」や「空手の日」の普及啓発に努め、目標達成を図る。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-③	主な取組名	沖縄空手世界大会の開催	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	第1回沖縄空手少年少女世界大会と第2回沖縄空手世界大会を同時開催した。新型コロナウイルス感染症の影響で、海外・県外からの参加者が入国することが困難となり、目標を下回る参加となった。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症が令和5年5月より5類感染症に移行したことにより、令和6年度に開催予定の「第2回沖縄空手少年少女世界大会」については、国内外からの参加者数の増加が予想される。				
対応案	令和6年度に開催予定の「第2回沖縄空手少年少女世界大会」に向け、事務局体制を構築し、大会開催に向けた準備を行う。また、大会開催にあたっては、参加者が安心して大会に出場できるよう、感染拡大防止策の徹底と安心安全な大会運営を効果的にPRしていく。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-③	主な取組名	沖縄空手少年少女世界大会の開催	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	第1回沖縄空手少年少女世界大会と第2回沖縄空手世界大会を同時開催した。新型コロナウイルス感染症の影響で、海外・県外からの参加者が入国することが困難となり、目標を下回る参加となった。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症が令和5年5月より5類感染症に移行したことにより、令和6年度に開催予定の「第2回沖縄空手少年少女世界大会」については、国内外からの参加者数の増加が予想される。				
対応案	令和6年度に開催予定の「第2回沖縄空手少年少女世界大会」に向け、事務局体制を構築し、大会開催に向けた準備を行う。また、大会開催にあたっては、参加者が安心して大会に出場できるよう、感染拡大防止策の徹底と安心安全な大会運営を効果的にPRしていく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-③	主な取組名	沖縄空手に関するイベントの開催	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄県本土復帰50周年記念事業のとして、世界のウチナーンチュ大会と連携してイベントを開始した。記念演武祭は国際通りに1,951名の空手家が集まり一斉演武を行ったとともに、沿道では12,000名の観客が観覧した。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症が令和5年5月より5類感染症に移行したことにより、令和5年度以降のイベントでは、国内外からの参加者数の増加が予想される。				
対応案	今後も継続的に記念演武祭が開催できるよう、県内空手道場や空手関係団体等と連携するとともに、記念演武祭の周知広報に努める。				

## 成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ウ-④	ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数	人	11,500	3,942			12,800	未達成	達成に努める
			計画値					
			11,933	12,367	12,800			
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課							
達成状況の説明								
<p>ユネスコ無形文化遺産登録について県民の気運醸成を図るため、シンポジウム（年1回）を開催し1,274人が参加した。また、普及啓発のためのイベントに2,668人参加したが、目標の達成には至っていない。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑤ 周知・啓発不足等	<p>沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録について県民の気運醸成を図るため、年1回のシンポジウムだけではなく、多種多様な取り組みを実施する必要がある。</p>							
対応案								
<p>沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録について県民の気運醸成を図るため、日常的に目に出来るようなグッズの製作・配布や、SNSを活用したPR動画の配信等を行うことを検討する。</p>								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-④	主な取組名	県民等の気運醸成	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	他県のユネスコ無形文化遺産登録の取組から見える沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に係る取組について県外講師を招いたシンポジウムを開催した。また、「空手発祥の地・沖縄」を発信する取り組みと連携し、各イベントにおいて沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録推進に係る取り組みをPRした。				
要因分析	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録について県民の気運醸成を図るため、年1回のシンポジウムだけではなく、多種多様な取り組みを実施する必要がある。				
対応案	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録について県民の気運醸成を図るため、日常的に目に出来るようなグッズの製作・配布や、SNSを活用したPR動画の配信等を行うことを検討する。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(1)-イ-②		観光産業と多様な産業との連携						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
一人当たり観光消費額（土産・買物費、飲食費） （一人当たり観光消費額（土産・買物費））	円	17,702	18,078			19,462	64.2%	目標達成の見込み	
			計画値						
			18,288	18,876	19,462				
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
一人当たり観光消費額（土産・買物費、飲食費） （一人当たり観光消費額（飲食費））	円	16,387	20,604			18,016	778.0%	目標達成	
			計画値						
			16,929	17,474	18,016				
担当部課名	文化観光スポーツ部観光政策課								
達成状況の説明									
<p>県産品の戦略的なマーケティング支援やプロモーション展開、沖縄のソフトパワーを活用した観光メニュー開発、グリーン・ツーリズム実践者の支援・育成などの取組により、一人当たり観光消費額（土産・買物費、飲食費）の向上に繋がった。</p>									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	市場ニーズに対応した食嗜好やパッケージ等の新たなニーズ・課題に対応した県内企業の商品開発、デザイン開発等を促進するとともに、体験交流型観光等の各種ツーリズムの充実強化を図ることで土産・買物費、飲食費の更なる伸長を目指す。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

対応案					
引き続き、市場ニーズの把握や体験交流型観光等の各種ツーリズムの推進などに取り組むとともに、観光産業と多様な産業との連携に係る各種施策の充実強化に努める。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(1)-イ-②	主な取組名	稼ぐ県産品支援事業	対応課	マーケティング戦略推進課
成果指標への寄与の状況	新型コロナウイルス感染症の影響等による商談会等の開催の規模縮小・撤退のため、目標を下回ったが、プロモーション展開や補助金等支援により一定の効果があった。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症の影響等による商談会等の開催の規模縮小・撤退。				
対応案	引き続き県産品のプロモーション展開やセミナー等のマーケティング支援、県外商談会への出展支援等、県内事業者に対する総合的な支援に取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(1)-イ-②	主な取組名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを15件、支援した。				
要因分析	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。				
対応案	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(1)-イ-②	主な取組名	グリーン・ツーリズムの推進	対応課	村づくり計画課
成果指標への寄与の状況	農山漁村と都市との交流を促進するためのグリーン・ツーリズム実践者の支援・育成等を行うことで、一人当たりの観光消費額の増加に寄与する。				
要因分析	グリーン・ツーリズムインストラクター講習会やスキルアップ研修会を実施し、実践者の資質向上に努めた。				
対応案	グリーン・ツーリズムの受入体制の強化や高位平準化を図るため、引き続きグリーン・ツーリズム人材育成に取り組む。				



## 成果指標 検証票

施策名	3-(10)-ウ-①		着地型観光プログラム等の定着					
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
離島地域（宮古圏域、八重山圏域、久米島圏域）の一人当たり観光消費額（八重山）	円	87,249	116,584			95,925	1,015.4%	目標達成
			計画値					
			90,138	93,036	95,925			
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
R4	R5	R6						
離島地域（宮古圏域、八重山圏域、久米島圏域）の一人当たり観光消費額（宮古）	円	86,891	108,585			95,532	754.0%	目標達成
			計画値					
			89,768	92,655	95,532			
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
R4	R5	R6						
離島地域（宮古圏域、八重山圏域、久米島圏域）の一人当たり観光消費額	円	62,893	76,005			69,147	629.5%	目標達成
			計画値					
			64,976	67,064	69,147			

(様式3) 「成果指標」 検証票

担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課				
達成状況の説明					
観光客の滞在日数や一人当たり消費額の増加を図るため、関連する主な取組により離島誘客を実施し、令和4年度の離島訪問者の割合は令和元年度比5.8%増（令和元年度28.8%→令和4年度34.6%）となった。離島訪問者の割合が増加したことにより、一人当たりの観光消費額が増回したと推測されるため、離島プロモーション等の誘客促進に一定の効果があったものと考えている。					
要因分析					
類型	説明				
① 計画通りの進捗	離島誘客を促進することにより、離島への訪問者及び一人あたりの観光消費額の増加を図った。				
対応案					
令和5年度以降も、積極的に離島観光の誘客促進を実施し、離島地域の一人当たりの観光消費額増を図っていく。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-①	主な取組名	離島の魅力ある資源を活かした観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	離島を活用した観光コンテンツ開発の申請がなかった。				
要因分析	「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画」において「離島の魅力ある資源を生かした観光コンテンツの創出」を掲げていることを積極的に発信する必要がある。				
対応案	補助事業を公募する段階で、「離島の魅力ある資源を生かした観光コンテンツの創出」を事例として挙げ、申請を促す。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-①	主な取組名	離島観光活性化促進事業（国内線チャーター便支援）	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光客の滞在日数や一人あたり消費額の増加を図るため、離島への交通アクセスを拡充し、離島航空路線のプログラムチャーター化または定期便化に向けた取組に対する支援を実施。令和4年度においては、支援件数10件、入域者数は376人となった。				
要因分析	R4年度は年度当初15件の申請があり、上限額に達したため受付を終了していたが、新型コロナウイルスの影響を受け、集客が見込めないまたは催行中止等の理由により、5件が辞退となったため、支援件数は10件、入域者数376名となった。				
対応案	定期便化・プログラムチャーター化に繋げるため、航空会社や旅行会社へのセールス活動等を継続していく。また、各離島地域や関係機関等と連携し、本事業のさらなる周知を実施する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-①	主な取組名	離島観光活性化促進事業（主要離島観光協会によるプロモーションの実施）	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光客の滞在日数や一人あたり消費額の増加を図るため、八重山圏域、宮古圏域、久米島圏域の観光協会等が主体となり、各圏域ごとに、展示会への出展及びメディアやSNS等を活用した各種プロモーションを実施し、誘客促進を図った。				
要因分析	各地域の特色あるコンテンツの掘り起こしや各関係機関との連携を図る必要がある。また、インバウンド需要が回復する中、多言語対応等の受入体制の整備についても検討する必要がある。				
対応案	各圏域ごとの課題や解決策について共有を行いながら、関係機関等と連携し、高付加価値コンテンツの掘り起こしや各離島の受入体制状況に配慮した誘客プロモーションについて検討を行う。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(10)-ウ-②		環境に配慮した持続可能な観光の推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
離島の持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合 (宮古)	%	37.1	37.5			50	9.3%	目標達成の見込み	
			計画値						
			41.4	45.7	50				
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
離島の持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合 (八重山)	%	45.4	47.6			50	146.7%	目標達成の見込み	
			計画値						
			46.9	48.5	50				
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
離島の持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合 (久米島)	%	31.1	32.5			50	22.2%	目標達成の見込み	
			計画値						
			37.4	43.7	50				
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課								
達成状況の説明									
サステナブルツーリズムは、世界的に浸透してきており、沖縄県においても、経済、自然、文化を尊重した観光が意識されてきていることから、旅行者と地域住民が沖縄の観光資源の価値を共有した取組が各地域でも実施されている。									

(様式3) 「成果指標」 検証票

要因分析					
類型	説明				
④ 関係機関の調整遅れ	サステナブルツーリズム推進事業においては、関係機関との連携を行いながら、全県的に取り組みを進める必要がある。				
⑤ 周知・啓発不足等	地域住民と旅行者が沖縄の観光資源の価値を共有するため、それぞれのニーズを測る調査を行い、意識を共有した周知啓発を行う必要がある。				
対応案					
サステナブルツーリズムを推進するため、県内の実態を把握するとともに、推進に弊害となっている観光諸問題を解決するため、専門家派遣や相談窓口の設置を行うなどして、地域に根付いた取組を行う。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-②	主な取組名	離島市町村における観光地マネジメントの促進	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	離島振興会議や持続可能な観光地マネジメントについてのセミナーを開催し、離島地域における観光地マネジメントに寄与した。				
要因分析	離島地域との意見交換やセミナー開催によって、離島地域における持続可能な観光に対する理解が深まり、持続可能な観光を推進する取組への支援に繋がった。				
対応案	引き続き、離島地域が抱える持続可能な観光に対する取組の課題解決への支援を実施する。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-②	主な取組名	住民生活や自然環境への配慮等に関する周知啓発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	離島振興会議や持続可能な観光地マネジメントについてのセミナーを開催し、離島地域における観光地マネジメントに寄与した。				
要因分析	レスポンシブルツーリズムの取り組みを沖縄県全体に普及することで、地域住民の生活や自然環境の保全が図られる。				
対応案	地域毎のレスポンシブルツーリズムの取り組みを促進するため、市町村や観光協会等との連携を強化する必要がある。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(12)-イ-②	国際路線の拡充に向けた取組強化						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
那覇空港の国際路線数（就航都市数）	路線	0	3			15	60%	目標達成の見込み
			計画値					
			5	10	15			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
<p>那覇空港国際線は、約2年5か月ぶりに路線が再開した。令和4年度は那覇空港国際線の回復が進み、運航状況は3路線（台北、香港、仁川）、12社運航となり、外国人観光客は3年ぶりに皆増の20万100人となった。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑫ 社会経済情勢	国の動向等も踏まえ、県は、令和4年5月25日に那覇空港国際線の再開について国に要請を行い、那覇空港国際線は6月末までに国による検疫体制等の整備が完了した。							
⑥ その他個別要因	コロナ禍以前に那覇空港に就航し、かつ、運航を再開した航空会社に対し、那覇空港国際線の路線再開を促進するためのインセンティブとして支援を実施した。							
対応案								
<p>空港の受入体制の整備に向けて他部局と連携して取り組み、那覇空港の路線回復を図る必要がある。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(12)-イ-②	主な取組名	新規就航定期便等への支援	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	コロナ禍以前に那覇空港に就航し、かつ、運航を再開した航空会社10社に対し、那覇空港国際線の路線再開を促進するためのインセンティブの支援を行った。				
要因分析	インセンティブにより、航空会社の復便の後押しに繋がったと考えられる。				
対応案	運休が継続している路線の回復及び安定化に向けて、沖縄観光の需要を喚起するための市場プロモーションを継続して実施し搭乗率の安定化を図る必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(12)-イ-②	主な取組名	各市場での誘客プロモーションの展開	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	委託事業者及び県海外事務所と連携を図りながら、国際線の路線回復に向けた取組とともに海外個人旅行者の受入再開後を見据えたプロモーション活動を実施した。				
要因分析	国際線の再開に合わせて適切な市場プロモーションを実施したことで、路線回復の促進に繋がった。				
対応案	運休が継続している路線の回復及び安定化に向けて、沖縄観光の需要を喚起するための市場プロモーションを継続して実施する必要がある。				



(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(12)-イ-②	主な取組名	国際旅客ハブの形成	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	他の自治体と連携し経由便による周遊型旅行のプロモーションを実施した。				
要因分析	他の自治体と連携し那覇空港を利用した周遊型旅行をプロモーションすることにより、中長期的な那覇空港の利用促進を図ることができた。				
対応案	那覇空港国際線の利用促進及び経由便を活用した欧米からの誘客を強化するため、海外の航空会社と連携した周遊型旅行のプロモーションを引き続き実施する必要がある。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ア-①	「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合	%	91.8	90			91.8	未達成	目標達成の見込み
			計画値					
			91.8	91.8	91.8			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
観光危機関連施策の実施したことが観光客の安全・安心に繋がり、目標値に近い実績を得ることができたと考えられる。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	観光危機関連施策を継続して実施していることが、間接的に観光客の安全・安心感に繋がっていると考えられる。							
対応案								
引き続き、観光危機管理施策を展開することにより、観光客に安全・安心な沖縄観光の形成に努めていく。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	市町村における観光危機管理計画策定支援	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	勉強会の開催、専門家派遣、図上訓練等の実施により、市町村の観光危機管理計画の作成に寄与することができた。				
要因分析	市町村による観光危機管理計画の作成は、観光危機に関する機運醸成に繋がるものである。				
対応案	引き続き市町村における観光危機管理計画の策定支援に努め、全県的な観光危機管理の機運醸成を図っていく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	観光関連団体との観光危機管理・対応に関する協定の締結	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光危機管理体制運用図上訓練を実施し、そこで得られた課題等をもとに、観光関連団体を含めて協定締結の必要性、内容等について検討を行った。				
要因分析	観光関連団体と一体となって観光危機管理に取り組むことは、観光危機に関する機運醸成に繋がるものである。				
対応案	引き続き観光危機管理対応訓練の実施や観光関連団体との協議等を実施し、実効性のある協定の締結を図る。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	ICTを活用した観光危機情報の収集・発信	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	コミュニケーションツールとして県において「LoGoチャット」の導入を行った。				
要因分析	コミュニケーションツールの導入は、迅速かつ正確な情報収集・発信に繋がるものであり、観光客の安全・安心に繋がるものである。				
対応案	観光危機運用訓練にて実際に使用することにより、運用上の課題等を洗い出していく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	外国人観光客の傷病時等における多言語対応	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	インバウンド医療対応通訳コールセンターを設置し、外国人観光客が急なケガや病気に見舞われた際の通訳サポートを実施した。				
要因分析	コールセンターの設置により、外国人観光客の安心感や外国人観光客を受け入れる医療機関の負担軽減に繋がりを、観光客の安全・安心に寄与した。				
対応案	県内の医療事業者に本事業をより活用してもらうため、医療事業者向けに本事業の活用例やインバウンド傷病者対応の実例を紹介するセミナーを開催する。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ア-②		快適で魅力ある観光まちづくりの推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
リピーター率 (国内客)	%	86.2	87.8			90	達成	目標達成の 見込み	
			計画値						
			87.5	88.7	90				
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
リピーター率 (外国客)	%	29	36.2			29	達成	目標達成	
			計画値						
			29	29	29				
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課								
達成状況の説明									
令和4年度の入域観光客数は、国内客はコロナ禍以前まで回復してきているものの、外国客は新型コロナウイルス感染症による入国制限等の影響を受け段階的な回復となった。リピーター率においても同様の傾向を示しており、関連する主な取組により国内客のリピーター率は順調に推移、外国客のリピーター率も計画値を上回る結果となった。									
要因分析									
類型	説明								
⑫ 社会経済情勢	新型コロナウイルス感染症から観光客数が回復してきていることが、リピーター率の向上に繋がった。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

対応案					
国内客に加え外国客も段階的に回復してきており、国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりや観光客のニーズに合わせた情報の提供、地域観光の課題解決に取り組むことで快適な沖縄観光を推進し、リピーター率の向上を図る。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	沖縄フラワークリエイション事業	対応課	道路管理課
成果指標への寄与の状況	計画41路線に対し、実績41路線となっており、順調に実施している。国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線(80km)について、緑化(草花等)・重点管理を実施したことにより、観光地沖縄としてのイメージアップと温暖化防止に寄与することができた。				
要因分析	花のあるアレロパシー植物の活用により良好な沿道景観形成が図られ、うちなーんちゅ大会時のおもてなしとして、県庁前広場の花モニュメントを設置したことなどが、成果指標の推進に繋がっている。				
対応案	引き続き、国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線(80km)について、緑化(草花等)・重点管理を実施する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	地域観光の支援	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	離島振興会議や県内市町村等との意見交換会開催、市町村等へのアドバイザー派遣を実施し、地域観光の課題解決を図り、地域観光支援に寄与した。				
要因分析	オンラインを活用した会議開催やアドバイザー派遣の回数増が、より多くの課題解決に繋がり、地域観光支援に寄与した。				
対応案	引き続き、地域に即した支援や幅広い地域への支援を実施していく。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	観光案内所運営事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	那覇空港国内・国際線観光案内所及び沖縄観光情報センターにおいて、計87,069名の来訪者に対し、交通情報や地域の観光情報の案内を実施した。同案内所の利用者へ実施した満足度調査では「満足」「やや満足」の割合が96.6%となり、一定数の評価を得た。				
要因分析	案内スタッフは、新聞やWEBサイト、SNS等を活用し、日々あらゆる観光情報を収集しているため、それぞれの観光客のニーズに合わせた情報の提供を行うことができた。				
対応案	那覇空港国際線の路線再開に伴い段階的に増加するインバウンドにも対応しながら、引き続き観光客のニーズに応じたきめ細やかな観光情報の提供に努める。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	県民意識の啓発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	Web、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションを実施することにより、県民意識の啓発に繋がった。				
要因分析	コロナ禍のため観光月間・観光の日のPR内容の変更があり、予定していた受入機運の維持・醸成ができなかった。				
対応案	アフターコロナを見据えた県民、観光客が求める観光客受入体制の整備、気運醸成に留意した取組を実施する。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ア-③		多様な受入環境の整備						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
心のバリアフリー認定件数（累計） LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合 （心のバリアフリー認定件数（累計））	件	6	6			30	0.0%	達成に努める	
			計画値						
			14	22	30				
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
心のバリアフリー認定件数（累計） LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合 （LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合）	%	3.9	4.1			5	50.0%	達成に努める	
			計画値						
			4.3	4.6	5				
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課								
達成状況の説明									
観光庁が創設した「心のバリアフリー認定制度」について、県内の観光関連事業者に浸透しておらず、引き続き周知啓発を図っていく必要がある。 LGBTQに対する受入環境整備については、ほぼ計画通りに進んでおり、引き続きLGBTQ関連のセミナーを実施するなど、受入環境整備の強化に努める。									
要因分析									
類型	説明								
⑤ 周知・啓発不足等	心のバリアフリー認定件数（累計）については、観光庁が創設した「心のバリアフリー認定制度」について周知啓発を図り、同制度における認定を促進する必要がある。								



(様式3) 「成果指標」 検証票

① 計画通りの進捗	LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合については、ほぼ計画通りに進んでおり、引き続きLGBTQ関連のセミナーを実施するなど、受入環境整備の強化に努める。				
対応案					
ユニバーサルツーリズムに係るセミナー等で、同制度の周知啓発を図るとともに、認定に向けたサポートを実施する。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-③	主な取組名	ユニバーサルツーリズムの推進	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光事業者向けのセミナー及びアドバイザー派遣において、「心のバリアフリー」認定制度の周知啓発を図っており、一定程度寄与していると考える。				
要因分析	「心のバリアフリー」認定制度について認識はしてはいるが、観光庁への申請に至っていないケースがある。				
対応案	セミナー及びアドバイザー派遣等を受講した観光関連事業者に対し、観光庁への申請についてもサポートすることとする。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-③	主な取組名	観光客向けの情報発信の強化	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	ポータルサイトにおいて、「心のバリアフリー」認定制度にかかる周知啓発を行っており、一定程度寄与していると考える。				
要因分析	「心のバリアフリー」認定制度について認識はしてはいるが、観光庁への申請に至っていないケースがある。				
対応案	セミナー及びアドバイザー派遣等を受講した観光関連事業者に対し、観光庁への申請についてもサポートすることとする。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-③	主な取組名	県民のホスピタリティ向上	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光事業者向けのセミナー及びアドバイザー派遣において、「心のバリアフリー」認定制度の周知啓発を図っており、一定程度寄与していると考える。				
要因分析	「心のバリアフリー」認定制度について認識はしてはいるが、観光庁への申請に至っていないケースがある。				
対応案	セミナー及びアドバイザー派遣等を受講した観光関連事業者に対し、観光庁への申請についてもサポートすることとする。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-イ-①		サステナブル・ツーリズムの推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合	%	40.7	42.2			50	48.4%	目標達成の見込み	
			計画値						
			43.8	46.9	50				
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課								
達成状況の説明									
サステナブルツーリズムは、世界的に浸透してきており、沖縄県においても、経済、自然、文化を尊重した観光が意識されてきていることから、旅行者と地域住民が沖縄の観光資源の価値を共有した取組が各地域でも実施されている。									
要因分析									
類型	説明								
④ 関係機関の調整遅れ	サステナブルツーリズム推進事業においては、関係機関との連携を行いながら、全県的に取り組みを進める必要がある。								
⑤ 周知・啓発不足等	地域住民と旅行者が沖縄の観光資源の価値を共有するため、それぞれのニーズを測る調査を行い、意識を共有した周知啓発を行う必要がある。								
対応案									
サステナブルツーリズムを推進するため、県内の実態を把握するとともに、推進に弊害となっている観光諸問題を解決するため、専門家派遣や相談窓口の設置を行うなどして、地域に根付いた取組を行う。									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組				
施策番号	3-(2)-イ-①	主な取組名	沖縄観光に関する県民意識調査	対応課 観光政策課
成果指標への寄与の状況	沖縄観光に関する県民意識調査の実施により成果指標を測定するとともに、サステナブル・ツーリズムの推進に係る施策の企画・立案を促進した。			
要因分析	調査の実施による施策の企画・立案の促進を通して、サステナブル・ツーリズムの推進に寄与した。			
対応案	引き続き、調査の実施による施策の企画・立案の促進を図る。			
関連する主な取組				
施策番号	3-(2)-イ-①	主な取組名	観光統計実態調査	対応課 観光政策課
成果指標への寄与の状況	観光統計実態調査の実施により、サステナブル・ツーリズムの推進に係る施策の企画・立案を促進した。			
要因分析	調査の実施による施策の企画・立案の促進を通して、サステナブル・ツーリズムの推進に寄与した。			
対応案	引き続き、調査の実施による施策の企画・立案の促進を図る。			

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-イ-②	持続可能な観光指標の設定と観光地マネジメント						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
各市町村の観光基本計画において独自のKPIを設定した市町村数（累計）	市町村	17	18			25	33.3%	目標達成の見込み
			計画値					
			20	22	25			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
<p>沖縄観光推進ロードマップの作成や、離島振興会議、フォローアップセミナー等の開催が後押しし、令和4年度に独自のKPIを盛り込んだ観光基本計画を策定した市町村数は1市町村増の18市町村となった。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑧ 他の事業主体の取組進展	各市町村においては、持続可能な観光地づくり形成のため、観光基本計画でKPIを設定し、観光地マネジメントに取り組んでいるところである。							
対応案								
市町村の観光マネジメント促進支援のため、引き続き情報発信や事業説明会、セミナー等を開催する。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-②	主な取組名	沖縄観光推進ロードマップ実施事業	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	「沖縄観光推進ロードマップ」の策定（令和5年3月）にあたっては、市町村と意見交換を行い意見等を反映し、圏域別の施策展開の設定や推進体制の共有を図ることにより、各市町村の観光基本計画において独自のKPIを設定した市町村数に寄与している。				
要因分析	「沖縄観光推進ロードマップ」の策定（令和5年3月）にあたり、市町村と意見交換を行い意見等を反映したことや、圏域別の施策展開の設定や推進体制の共有を図ったことにより、各市町村の観光基本計画において独自のKPIを設定した市町村数に寄与している。				
対応案	「沖縄観光推進ロードマップ」の内容や施策の進捗状況等について、市町村等を対象とした圏域ごとの説明会等を行うことにより、理解促進、連携体制の構築等に取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-②	主な取組名	市町村における観光地マネジメントの促進	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	離島振興会議やフォローアップセミナー等での持続可能な観光についてのセミナー開催、市町村との意見交換会や情報提供を実施し、市町村における持続可能な観光地マネジメントに寄与した。				
要因分析	セミナー開催や離島振興会議での意見交換が、持続可能な観光についての理解を深め、市町村の観光基本計画策定に寄与した。				
対応案	持続可能な観光が円滑に推進できるように、市町村、観光協会、観光事業者等と連携しながら取り組む。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-②	主な取組名	観光地の混雑解消・分散化・平準化	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	沖縄県内の観光諸問題解決に向け、観光地の混雑状況等の調査を行い、混雑解消・分散化・平準化の手法構築に寄与した。				
要因分析	県内の実態調査において、観光諸問題の原因を把握することにより、混雑解消等の手法構築に寄与した。				
対応案	観光地の混雑解消等を行うため、市町村、観光協会、観光事業者等と連携しながら取り組む。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ウ-①	沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
平均滞在日数	日	3.7	4.25			4.21	323.5%	目標達成
			計画値					
			3.87	4.04	4.21			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
令和4年度に第6次沖縄県観光振興計画を策定し、各取組を効果的に実施したことで、目標値を上回る結果となった。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	引き続き効果的な取組を実施し、ソフトパワーを生かしたツーリズムを実施していく。							
対応案								
目標値達成のため、各種取組を継続的に実施するとともに、時代の潮流に合わせたツーリズムを推進していく。								



(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-①	主な取組名	多彩かつ質の高い観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを15件、支援した。				
要因分析	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。				
対応案	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-①	主な取組名	持続可能なマリンレジャーの振興	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光客及びマリンレジャー事業者へ環境に配慮したツーリズムのプロモーション、セミナーを開催し、持続可能なマリンレジャーの振興に寄与することができた。				
要因分析	沖縄県内で行われている、環境へ配慮したマリンレジャーの取り組みを共有することで、持続可能な観光に寄与すると考える。				
対応案	観光客及びマリンレジャー事業者をレスポンスブルツーリズムへの参画に繋げるため、市町村や観光協会等と連携し、効果的な取り組みを実施する必要がある。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ウ-②		多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額 (国内客の一人当たり観光消費額)	円	76,987	103,292			85,710	905.5%	目標達成	
			計画値						
			79,892	82,805	85,710				
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
R4	R5	R6							
国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額 (外国空路客の一人当たり観光消費額)	円	102,528	93,497			106,386	-702.8%	目標達成の見込み	
			計画値						
			103,813	105,101	106,386				
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課								
達成状況の説明									
<p>外国空路客について、那覇空港国際線の再開及び路線回復により、令和4年度の外国人観光客数は20万100人となり、新型コロナウイルス感染症以降、初めて皆増に転じたものの目標値の達成には至らなかった。</p>									
要因分析									
類型	説明								
⑫ 社会経済情勢	<p>新型コロナウイルス感染拡大期間を経て、SDGs、自然、健康等に関心が高まるとともに観光に対する需要や消費の在り方が多様化する中、国内外の富裕層が求める地域の自然・歴史・文化等に触れる新規コンテンツ需要に応えることができた。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

⑫ 社会経済情勢	令和4年10月に日本における海外個人旅行者の受入が再開されたものの、市場の需要回復には時間がかかることが見込まれる。				
対応案					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国空路客について、今後のインバウンド市場の回復に合わせて、観光の質の向上（滞在日数の延伸及び消費単価の向上）に向け、各市場特性に応じた体験型観光を効果的に訴求する必要がある。</li> <li>・沖縄県内の富裕層向けコンテンツを扱う富裕層専門旅行者や高付加価値旅行商品の数が依然少ないことから、それぞれの数や種類を増やす取組みを継続する。</li> </ul>					
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	国内需要安定化事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	国内旅行需要を取り込むために、イベントプロモーション、航空会社・空港プロモーション、デジタルプロモーション、沖縄観光ブランド化の取組みなど積極的なPR活動を実施したことにより、国内入域観光客数の増加に寄与した。				
要因分析	国内旅行需要が回復基調にあったことから、各種プロモーション活動がニーズにマッチし効果的に機能したといえ、国内入域観光客数と消費額の増加に繋がったと考えられる。				
対応案	引き続き航空会社及び直行便就航地を中心とした地方空港等と連携した誘客プロモーションを強化し、旅行需要回復期における効果的な誘客を実施する。沖縄観光のブランド化に向けた取組を戦略的に実施するほか、富裕層に訴求するプロモーションを継続する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	カップルアニバーサリーツーリズム事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	カップルアニバーサリー（リゾートウェディング等）の実施を推進するため、ブランドイメージの定着と各種プロモーションを継続したことにより、実施組数が過去最多となったとともに、推計来県者数及び推計経済効果にも伸びが見られた。				
要因分析	観光統計実態調査（観光政策課）及びリゾートウェディング統計調査（観光振興課）の結果から、ウェディングにおける来県者数が増加しているとともに、消費単価も伸びており、成果指標である一人当たり観光消費額の向上に繋がっている。				
対応案	沖縄リゾートウェディングの価値の向上・浸透を図る取組を継続するとともに、国内外の市場において、高付加価値商品に重点を置いたプロモーションを実施する。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ウ-③		質の高いクルーズ観光の推進					
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
プレミアム/ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合	%	0	100			41.6	達成	目標達成
			計画値					
			13.9	27.7	41.6			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
令和4年（暦年）におけるクルーズ船の寄港回数は、合計4回、すべて邦船（プレミアム/ラグジュアリークラス）による寄港となった。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	令和4年は邦船のみの寄港となったが、令和5年3月以降は国際クルーズ船の寄港が再開されたことから、プレミアム/ラグジュアリークラスのクルーズ船の誘致を図り、引き続き、質の高いクルーズ観光を推進する。							
⑫ 社会経済情勢	令和4年（暦年）におけるクルーズ船の寄港回数は、日本における外国籍による国際クルーズ船の寄港がまだ再開されていない状況であったことから、計4回すべて邦船（プレミアム/ラグジュアリークラス）による寄港となった。							
対応案								
令和5年3月以降、日本における国際クルーズ船の寄港が再開されたことから、プレミアム/ラグジュアリークラスのクルーズ船をターゲットとしてプロモーション等の誘致活動を展開し、寄港地観光の促進、質の高いクルーズ観光を推進する。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-③	主な取組名	クルーズ船寄港地の形成（中城湾港）	対応課	港湾課
成果指標への寄与の状況	大型クルーズ船寄港に伴い、人流と物流の棲み分けが求められていることから、交通網を棲み分けるため、将来計画を踏まえた、ふ頭再編の検討を行った。				
要因分析	人流と物流の棲み分けを行うため、臨港道路の配置計画の検討を行うことで、施設整備を事業化するための進捗が図られている。				
対応案	令和5年3月以降、日本における国際クルーズ船の寄港が再開されたことから、中城湾港への需要の回復状況を確認し、整備内容・整備時期を整理していく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-③	主な取組名	石垣港の整備	対応課	港湾課
成果指標への寄与の状況	国直轄により、石垣港の大型旅客船ターミナル整備事業を進めた。				
要因分析	クルーズ船の寄港需要に対する大型旅客船ターミナルの整備を進めているところである。				
対応案	早期整備等の要望を行うなど事業の促進を図る。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-③	主な取組名	クルーズ船の誘致	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	国内・国際クルーズ船の受入再開の動向等を踏まえ、本県への寄港再開に向け、日本、欧米市場等へのプロモーション、クルーズ船社等への営業訪問等、誘致活動を行った。				
要因分析	今後のクルーズ再開を見据えた誘致活動、クルーズ船社等との関係強化等を継続して実施してきたことから、本県におけるクルーズ再開につながった。				
対応案	令和5年3月以降、日本における国際クルーズ船の寄港が再開されたことから、邦船に加え、国際クルーズの誘致活動を更に強化していく。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ウ-④		観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
一人当たり観光消費額（娯楽・入場費、宿泊費）	円	6,647	10,525			7,308	1,762.7%	目標達成	
			計画値						
			6,867	7,088	7,308				
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
一人当たり観光消費額（娯楽・入場費、宿泊費）	円	23,398	38,774			26,646	1,421.1%	目標達成	
			計画値						
			24,480	25,564	26,646				
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課								
達成状況の説明									
付加価値の高い観光コンテンツの開発や民間観光関連施設の投資の促進、観光地形成促進地域制度の活用促進などの取組により、一人当たり観光消費額（娯楽・入場費、宿泊費）の向上に繋がった。									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	多彩で質の高いコンテンツ開発や沖縄観光の高付加価値等を図る観光関連施設の整備促進、観光地形成促進地域制度の周知等を図り、一人当たり観光消費額（娯楽・入場費、宿泊費）のさらなる伸長を目指す。								



(様式3) 「成果指標」 検証票

対応案					
引き続き、観光地形成促進地域制度の活用等による民間投資の促進や、多様な観光ニーズに対応した付加価値の高い観光コンテンツの構築等の取組の充実強化に努める。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-④	主な取組名	観光地形成促進地域制度の活用促進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	ワンストップ相談窓口で企業への制度の周知と相談対応を行ったほか、関係団体等に対して制度の周知を図るとともに、事業者向けの手引き、Q&A等を作成した。				
要因分析	観光地形成措置実施計画の認定は、令和4年8月に改正された観光地形成促進計画に基づき新たな制度で、周知には時間を要するため、現状は申請件数が0となっているが、制度の周知広報や事業者向けの手引きの作成等により、今後の申請件数の増を見込んでいる。				
対応案	ワンストップ相談窓口で企業への制度の周知と相談対応を行うほか、関係団体等に対して制度の周知を図るとともに、事業者向けの手引き、Q&A等を作成する。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-④	主な取組名	民間観光関連施設の投資の促進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	当制度の活用件数や適用金額は増加傾向にある。				
要因分析	令和4年度に改正された観光地形成促進地域制度パンフレットの配布や沖縄県MICE推進課ホームページへの掲載、事業者向けの一括相談窓口の設置等により、当制度の広報・周知に取り組んだため。				
対応案	観光関連団体や市町村の観光及び税務担当部署との連携や県内外の税理士会等の協力を得て制度説明会を開催するなど、設備投資に関心のある事業者等に広く周知し、沖縄観光の高付加価値等を図る観光関連施設の整備を促進する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-④	主な取組名	付加価値の高い観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを15件、支援した。				
要因分析	多彩で質の高いコンテンツ開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。				
対応案	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-エ-①	ICTによる新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
リアルタイムな情報をオープンデータ化して公開している観光施設数	施設	0	2			3	200%	目標達成の見込み
			計画値					
			1	2	3			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
観光施設におけるリアルタイムな情報については、2つの観光施設において混雑情報を公開している。								
要因分析								
類型	説明							
⑮ その他個別要因	目標値を達成するためには、現行の実施計画における関連する主な取組の継続的な実施のほか、別途、実施している観光施設による混雑情報の発信と連携していく必要がある。							
対応案								
観光施設のリアルタイムな情報のオープンデータ化を推進するとともに、観光客が快適に過ごせる観光地の形成に向け、他の取組とも連携しながら混雑回避に必要な情報の発信を推進する。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-①	主な取組名	新たな技術を活用した観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	新たなデジタル技術を活用した観光コンテンツ開発の申請がなかった。				
要因分析	「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画」において「新たなデジタル技術を活用したコンテンツ開発の促進」を掲げていることを積極的に発信する必要がある。				
対応案	補助事業を公募する段階で、「新たなデジタル技術を活用した観光メニュー」を事例として挙げ、申請を促す。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-①	主な取組名	コンタクトレス決済端末機導入整備事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	コンタクトレス決済端末機の導入整備を進めたことにより、オープンデータの基盤となるDX推進に寄与できた。				
要因分析	コンタクトレス決済端末機の導入支援を行ったことによる。				
対応案	引き続き、コンタクトレス化(キャッシュレス化)の普及促進を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-①	主な取組名	観光情報基盤構築事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	宮古、八重山地区の観光ビーチ情報を収集することが出来た。				
要因分析	収集したデータについては、主にビーチの名称や位置情報等であることから、リアルタイムな情報の公開については、関連する施策と連携する必要がある。				
対応案	DX観光客動態調査事業で実施している観光施設による混雑情報の発信と連携しながら、観光施設のリアルタイムな情報の公開を推進する。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-エ-②		世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
ワーケーションを目的とした来県者の割合	%	3.4	1.8			3.7	-1,600.0%	達成に努める	
			計画値						
			3.5	3.6	3.7				
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課								
達成状況の説明									
<p>ワーケーションで来県する実数は121千人と増加しているが、入域観光客数の増加に伴い、ワーケーションを目的に来県する観光客の割合が1.8%となった。</p>									
要因分析									
類型	説明								
⑥ その他個別要因	<p>入域観光客数の増加に伴い、ワーケーション目的で来県する人数は増加しているが、観光地や海水浴目的等の観光客数も増加し、ワーケーション目的での来県者の割合は目標値に届かなかった。</p>								
対応案									
<p>仕事（出張）で来県している方々への延泊であったり、仕事目的で来県する方々へ沖縄での休暇等を促す取組を促進し、ワーケーションの拡充を図る。</p>									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-②	主な取組名	Be. OkinawaFreeWi-Fi通信機器調査及び検討業務事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	Be. OkinawaFreeWi-Fiの普及促進に努めた。				
要因分析	Wi-Fi整備は、ワーケーション環境の改善に繋がるものである。				
対応案	引き続きBe. OkinawaFreeWi-Fiの普及促進に努めていく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-②	主な取組名	デスティネーションとしての沖縄の認知度向上に向けた取組	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	プロモーションについては、関係者の招聘、イベントへの出展など、年間を通じ、様々なプロモーションを実施した。				
要因分析	ビジネスリーダー及び「Well-being」に興味がある県外企業に対し、プロモーションを実施することで、沖縄でのワーケーションの認知度向上に繋がった。				
対応案	引き続き、県外でのイベント等への出展を通じ、沖縄の認知度向上に努める。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-②	主な取組名	企業や個人事業主等に対する誘客の取組	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	プロモーションについては、情報誌への掲載、セミナーの開催など、年間を通じ、様々なプロモーションを実施した。				
要因分析	県外企業の総務・人事担当者に対し、オンラインによるセミナー等を実施し、誘客に務めた。				
対応案	引き続き、観光誘客の新たな切り口であるワーケーションについては、沖縄の強みを活かした誘客に取り組む。				



## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-エ-③	データを活用した戦略的なマーケティングの推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
国内・国外観光客の行動歴・販売データの サンプル件数	件	5,000	62,967			31,500	656.9%	目標達成
			計画値					
			13,824	22,676	31,500			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明								
<p>コンタクトレス決済端末機導入支援等の取組を推進したことにより、目標値を大きく上回る結果となった。</p>								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	DX推進施策に取り組んだことが総合的にこの結果に繋がったと考えられる。							
対応案								
<p>引き続き、サンプル件数の確保及び利活用に向けた方策を検討・実施していく。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-③	主な取組名	DX観光客動態調査事業	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	携帯電話のGPS位置情報データを利用して、国内観光客の行動歴等を調査分析することでそのニーズを把握し、ターゲットマーケティングの展開に繋がった。				
要因分析	観光消費額の向上や滞在日数の延長につながる観光客の特性に着目した分析を行うことで、戦略的なマーケティングの推進に寄与した				
対応案	引き続き、観光客の行動歴等を調査分析する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-③	主な取組名	観光客の購買データ利活用	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	コンタクトレス決済端末機導入整備事業を通じて241台の購買データサンプルを確保できた。				
要因分析	コンタクトレス決済端末機導入支援を行うことにより、サンプルの確保に繋がった。				
対応案	今後もサンプル確保に努め、購買データの利活用に繋がっていく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-③	主な取組名	観光客の路線バス乗降データの利活用	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	コンタクトレス決済の実証実験を実施することで路線バス乗降データを取得できた。				
要因分析	コンタクトレス決済端末機導入支援を行うことにより、サンプルの確保に繋がった。				
対応案	今後もサンプル確保に努め、購買データの利活用に繋げていく。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-エ-④		観光二次交通の利便性向上及び利用促進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
旅行中に利用した公共交通機関の割合	%	67.3	78.5			70.3	1,120.0%	目標達成	
			計画値						
			68.3	69.3	70.3				
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課								
達成状況の説明									
令和4年度は、レンタカー不足などの影響もあり、旅行中に利用した公共交通機関の割合が大きく増加した。									
要因分析									
類型	説明								
⑫ 社会経済情勢	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴うレンタカー不足に対応するため、バス、モノレールなどの公共交通機関等の交通企画券を割引する事業を実施したことにより、レンタカー以外の公共交通機関の割合が大きく増加した。								
対応案									
令和5年度においても、引き続き、レンタカー不足の影響があることから、バス等の公共交通機関を利用する取組が必要である。									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-④	主な取組名	観光2次交通機能強化事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	那覇空港に停車する観光系路線バス14路線において、コンタクトレス決済の実証実験を実施した。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症の影響による海外からのインバウンド観光客の動向が不明のため、令和5年度において、県によるコンタクトレス決済（非接触型決済）の実証事業を見送ることとなったものの、免許を持たない観光客の2次交通を確保する施策を検討する必要がある。				
対応案	令和5年度から、新規事業として、繁忙期において、市町村や民間事業者が行う観光2次交通の確保に要する経費に対し、補助金を交付する事業を実施し、バス等の利用促進に努める。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-④	主な取組名	県内で実施しているMaaSの観光客への周知	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	「おきなわのりもの旅」（Webサイト）の作成等を行った。				
要因分析	公共交通で沖縄観光を楽しむことを周知するWebサイトの開設するほか、リーフレットの作成、デジタルサイネージでの案内を行うことで、利用促進等に繋がった。				
対応案	引き続き、デジタルサイネージ等による情報提供を行うことで、利用促進等に繋げる。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-④	主な取組名	主要観光拠点の観光二次交通の交通結節点としての位置づけに向けた取組	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	令和4年7月に策定した「第6次沖縄県観光振興基本計画」において、観光2次交通の交通結節点を北谷町と位置付けた。				
要因分析	第6次沖縄県観光振興基本計画において、北谷町を観光2次交通結節点を位置付けることが出来たことから、令和5年度から、観光2次交通結節点の実証事業等を行う取組を検討する。				
対応案	令和5年度から、新規事業として、北谷町における観光2次交通結節点の可能性調査を含めた実証事業を実施する。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-オ-①		MICE振興とビジネスツーリズムの推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
MICE開催による経済効果（直接効果）	億円	43	249			604	110.2%	目標達成の見込み	
			計画値						
			230	417	604				
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課								
達成状況の説明									
令和4年に県内で開催されたMICEによる経済効果（直接効果）は249億円で、コロナによるイベント開催制限緩和に加え、沖縄アリーナや那覇文化芸術劇場なはーと等の新たなMICE施設の開業、MICE施設と近隣ホテル等連携による大規模MICE受入事例の増加等により計画値を上回った。									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	コロナによるイベント開催制限緩和に加え、沖縄アリーナや那覇文化芸術劇場なはーと等の新たなMICE施設の開業、MICE施設と近隣ホテル等連携による大規模MICE受入事例の増加等								
対応案									
今後も県内関係機関・事業者と連携してMICE参加者の増に努め、経済効果の増加に繋げる。									

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-①	主な取組名	OCVB等と連携した国内外での誘致活動強化	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	新型コロナウイルス感染症の影響がある中、オンラインも活用した商談会を開催し、県内事業者とバイヤーとのマッチングを図った。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症の影響によりMICE開催が制限される中、オンラインも活用した商談会を開催し、県内事業者とバイヤーのマッチングを図るなど、ポストコロナに向けた取組が図られた。				
対応案	新型コロナウイルス感染症の影響から比較的早期に回復が見込まれるインセンティブ旅行の誘致を図っていく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-①	主な取組名	MICE開催実態調査	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	「沖縄MICE振興戦略」に基づく具体的施策の効果を検証し、今後のMICE施策推進の方向性や受入の取組を進める際の基礎資料とするため、県内におけるMICE開催実態の調査を実施した。				
要因分析	MICEの受入可能性のある施設を有する企業・団体に対してMICE開催実態調査のアンケート調査を行った。回答率の低い離島地域においては直接事業者を訪問し協力を依頼するなど、回答率向上に向けた取組も順調に実施できた。				
対応案	産学官で構成するMICE推進の中核組織である沖縄MICEネットワークなどの枠組みを活用し、県が実施する調査事業への理解を深めてもらうとともに、引き続き事業者負担を減らす方向での検討を行う。				



(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-①	主な取組名	MICE誘致・開催・歓迎支援の実施（インセンティブ、コンベンション）	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	コンベンション主催者やインセンティブ主催者への助成、芸能団派遣等の開催歓迎支援など、MICE参加者の満足度を高めるためのサポートを実施した。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症の影響によりMICE開催が制限される中、学会を対象とした商談会やJCCBのコンベンションビューロー部会への参加により、ポストコロナを見据えた取組が図られた。				
対応案	ポストコロナにおいても、主催者の沖縄MICE開催の満足度が向上するように引き続き支援していく必要がある。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-オ-②		マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
1,000人以上のMICE開催件数	件	11	70			193	96.7%	目標達成の見込み	
			計画値						
			72	132	193				
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課								
達成状況の説明									
令和4年に県内で開催された1,000人以上のMICEは70件で、コロナによるイベント開催制限緩和に加え、沖縄アリーナや那覇文化芸術劇場なは一と等の新たなMICE施設の開業、MICE施設と近隣ホテル等連携による大規模MICE受入事例の増加等によりほぼ計画値どおりとなった。									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	コロナによるイベント開催制限緩和に加え、沖縄アリーナや那覇文化芸術劇場なは一と等の新たなMICE施設の開業、MICE施設と近隣ホテル等連携による大規模MICE受入事例の増加等								
対応案									
今後も県内関係機関・事業者と連携して大規模MICEの受入体制整備に努め、経済効果の増加に繋げる。									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-②	主な取組名	大型MICE施設整備の推進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	大型MICE施設を整備することにより、1,000人以上の催事件数の増加に寄与することができる。大型MICE施設整備に向けた取組を着実に実施している。				
要因分析	沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画の策定、公表を行い、PFI事業として実施する大型MICE施設整備の取組を進めた。				
対応案	競争性を確保し、社会・経済情勢を反映した実施方針等を策定するため、事業への参画意欲の向上や事業内容の理解を深めるための取組を実施する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-②	主な取組名	沖縄MICEネットワークを活用した連携強化	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	県内事業者のMICEに関する知識の取得や誘致、受入に関する諸問題の解決のため、勉強会や部会を開催した。また会員相互の情報発信と共有のためWebニュースや機関紙を発行した。				
要因分析	県内事業者のMICEに関する知識の取得や誘致、受入に関する諸問題の解決のため、勉強会や部会を開催した。また会員相互の情報発信と共有のためWebニュースや機関紙を発行した。沖縄MICEネットワークには現在212団体が参加しており、全県的かつ産業横断的なMICE振興が図られている。				
対応案	今後も県内関係機関・事業者との連携強化に努め、受入体制整備を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-②	主な取組名	MICE施設の管理・運営	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	国内外の優れたMICEの誘致と、安心・安全な施設の利用環境を維持するため、指定管理者制度を活用し、適切な管理・運営を行った。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症の影響により例年より催事件数は減少したが、指定管理制度により適正な管理・運営を行った結果、本施設を利用した国内外の会議を開催することができた。				
対応案	MICEイベント誘致のため、個別施設計画に基づく維持管理修繕のみではなく、利用者の利便性に配慮した機能向上を図る。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(2)-オ-③		MICEを活用した関連産業の振興						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
MICE開催による経済波及効果（間接効果）	億円	53	296			744	105.7%	目標達成の見込み	
			計画値						
			283	514	744				
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課								
達成状況の説明									
令和4年に県内で開催されたMICEによる経済効果（間接効果）は296億円で、コロナによるイベント開催制限緩和に加え、沖縄アリーナや那覇文化芸術劇場なは一と等の新たなMICE施設の開業、MICE施設と近隣ホテル等連携による大規模MICE受入事例の増加等により計画値を上回った。									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	コロナによるイベント開催制限緩和に加え、沖縄アリーナや那覇文化芸術劇場なは一と等の新たなMICE施設の開業、MICE施設と近隣ホテル等連携による大規模MICE受入事例の増加等								
対応案									
今後も県内関係機関・事業者と連携してMICE参加者の増に努め、経済効果の増加に繋げる。									

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-③	主な取組名	MICE開催にむけた沖縄MICEブランドの構築・県内MICE関連事業者へのSDGsやDXなどの取組の推進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	沖縄MICEブランドの構築等に向け、県内MICE関連事業者へSDGsやDX等新たな取組を浸透させるため、オンラインセミナー6回、集合型研修2回、合計8回の研修を実施した。				
要因分析	沖縄MICEブランドの構築等に向け、目標を上回る回数で人材育成研修を実施した。				
対応案	主催者ニーズやSDGs、DX等の新たな取組に対応した研修や専門アドバイザーの派遣により、県内のMICE関連事業者の質の向上を図り、沖縄MICEブランドの構築等を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-③	主な取組名	企業へのMICEビジネス機会の創出のための支援	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	県外（東京、大阪）において、県独自のMICEセミナー・商談会を開催した。				
要因分析	新型コロナの影響が残る中、県内事業者と県外バイヤーの効果的なビジネスマッチングを進めたうえで、県外で3年ぶりに対面形式によるセミナー・商談会の開催を実施したところ、目標を上回る商談件数を達成した。				
対応案	県が独自に実施した商談会において、商談会の後半に帰ってしまうバイヤーが多く見られたので、県内事業者とバイヤーの事前マッチング等により、より多くの商談機会の確保を図る。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(6)-イ-①		文化芸術に関する産業の創出・振興						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
文化資源を活用したビジネスの自走化件数 (累計)	件	6	6			10	-%	目標達成の 見込み	
			計画値						
			7	9	10				
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課								
達成状況の説明									
令和4年度は、達成率60%と令和4年度計画値の達成に至らなかった。									
要因分析									
類型	説明								
⑤ 周知・啓発不足等	伝統文化が観光資源として高付加価値であるとして、文化団体による公演頻度を上げるための情報発信が不足している。								
対応案									
引き続き、文化資源と様々な分野の産業と連携して新たなコンテンツを創出することで、文化団体の自走化実現に繋げる。									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組				
施策番号	3-(6)-イ-①	主な取組名	日本遺産普及啓発事業	対応課 文化振興課
成果指標への寄与の状況	ホームページ等を活用し琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を図り、成果指標の目標達成に寄与した。			
要因分析	琉球文化日本遺産事業については、概ね順調な進捗である。			
対応案	引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。			
関連する主な取組				
施策番号	3-(6)-イ-①	主な取組名	琉球料理传承人の育成・フォローアップ	対応課 文化振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、担い手育成講座及びフォローアップ講座並びに講師養成を実施した。			
要因分析	新たな担い手の育成とともに、既存の琉球料理伝承に対し知識及び技能向上を図るフォローアップ講座を実施した他、琉球伝承人育成講師を4名認定し、次世代の担い手を育成することができた。			
対応案	既存の担い手に対する取組を重視し、フォローアップ講座の開催を増やすことで、受講者増につなげる。			



(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-①	主な取組名	琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	文化資源を活用した新たな観光メニューとして、旅行商品造成プログラムを支援した。(支援団体:6団体)				
要因分析	文化団体の活動機会を確保するほか、文化団体等と観光事業者を繋ぐことにより、今後の活動機会増が見込まれる。				
対応案	引き続き、文化資源と様々な分野の産業と連携して新たなコンテンツを創出することで、文化団体の自走化実現に繋げる。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(6)-イ-②	空手を活用した産業の創出・振興						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
空手を組み込んだ体験型観光プログラムや商品等の開発件数	件	0	0			2	-%	目標達成の見込み
			計画値					
			1	1	2			
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課							
達成状況の説明								
<p>空手を組み込んだ商品等については、令和4年度で予算要求を行い、令和5年度以降に開発を行う予定。令和4年度時点では開発件数は0件だが、令和5年度は1件以上開発する見込みである。</p>								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	令和5年度新規事業として「空手ツーリズム受入体制構築事業」を立ち上げ、空手を組み込んだツーリズム商品の開発に取り組んでいる。							
対応案								
<p>「空手ツーリズム受入体制構築事業」にて、観光関連事業者と連携し、空手を組み込んだツーリズム商品の開発に取り組む。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-②	主な取組名	沖縄空手ガイドの養成	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手の歴史や県内各地に所在する空手関連顕彰碑及び縁の地等に関心を持っている海外の空手愛好家等のニーズに応えるため、沖縄空手の専門ガイドを育成しており、ツーリズム商品に空手ガイドを活用することで、より効果的な空手ツーリズムの推進に繋がる。				
要因分析	ツーリズム商品の開発を行う「空手ツーリズム受入体制構築事業」が令和5年度からの新規事業のため、まだ商品開発には至っていない。				
対応案	令和5年度新規事業の「空手ツーリズム受入体制構築事業」にて、空手ガイドを活用したツーリズム商品の造成を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-②	主な取組名	他産業と連携した空手関連の商品・コンテンツ制作支援	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	空手を組み込んだ商品等については、令和4年度で予算要求を行い、令和5年度以降に開発を行う予定。令和4年度時点では開発件数は0件だが、令和5年度は1件以上開発する見込みである。				
要因分析	令和5年度新規事業として「空手ツーリズム受入体制構築事業」を立ち上げ、空手を組み込んだツーリズム商品の開発に取り組んでいる。 また、「沖縄空手産業連携構築支援事業」については、交付要綱の調整に時間がかかり、公募開始時期が遅れた。				
対応案	「空手ツーリズム受入体制構築事業」にて、観光関連事業者と連携し、空手を組み込んだツーリズム商品の開発に取り組む。 また、「沖縄空手産業連携構築支援事業」については、多くの事業者が応募してくれるよう、早めに公募を開始し、公募期間を長く設定する。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(6)-イ-③		eスポーツを活用した新たな展開						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
大型eスポーツイベント参加者数	人	0	0			6,000	-%	達成に努める	
			計画値						
			1,998	4,002	6,000				
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
R4	R5	R6							
大型eスポーツイベント参加者数	人	0	0			30,000	-%	達成に努める	
			計画値						
			9,990	20,010	30,000				
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課								
達成状況の説明									
<p>これまで、県内大型eスポーツイベント（参加者1千人以上）の開催実績がなく、eスポーツの裾野の拡大、大型イベントの誘致・定着化に向けて調査事業を実施し、大型eスポーツイベント誘致に繋げる。</p>									
要因分析									
類型	説明								
⑥ その他個別要因	令和4年度はeスポーツイベントの誘致・定着化に向け基礎調査の実施を予定していたが、基礎調査の内容検討に留まっている。一方で、関係団体等からのヒアリングや現地確認等を進め、基礎調査の実施に向けた取組を進めている。								

(様式3) 「成果指標」 検証票

対応案					
近年、eスポーツに取り組む自治体が増えてきているため、他地域の事例も参考に諸課題の整理を進める。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-③	主な取組名	大型eスポーツイベントの誘致・定着化に向けた調査及び開催支援	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	eスポーツ関係団体等へのヒアリングを実施のうえ、eスポーツイベントの誘致・定着化に向けた基礎調査の内容等について検討を行った。				
要因分析	令和4年度はeスポーツイベントの誘致・定着化に向け基礎調査の実施を予定していたが、基礎調査の内容検討に留まっている。一方で、関係団体等からのヒアリングや現地確認等を進め、基礎調査の実施に向けた取組を進めている。				
対応案	基礎調査の内容検討に留まっているため、今後、関係団体等からのヒアリング等を進め、諸課題を明らかにした上で早急な基礎調査の実施に取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-③	主な取組名	新たなビジネスモデルの構築の可能性に係る取組の推進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	eスポーツ関係団体等へのヒアリングを実施のうえ、eスポーツイベントの誘致・定着化に向けた基礎調査の内容等について検討を行った。				
要因分析	令和4年度はeスポーツイベントの誘致・定着化に向け基礎調査の実施を予定していたが、基礎調査の内容検討に留まっている。一方で、関係団体等からのヒアリングや現地確認等を進め、基礎調査の実施に向けた取組を進めている。				
対応案	基礎調査の内容検討に留まっているため、今後、関係団体等からのヒアリング等を進め、諸課題を明らかにした上で早急な基礎調査の実施に取り組む。				

(様式3) 「成果指標」検証票

## 成果指標 検証票

施策名	3-(6)-イ-④		健康サービス産業の振興						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
ウェルネスツーリズムを推進する観光コンテンツ開発件数（累計）	件	1	1			3	-%	目標達成の見込み	
			計画値						
			2	2	3				
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課								
達成状況の説明									
地域観光協会等が実施するウェルネス関連のコンテンツ開発を1件支援した。									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	ウェルネス関連のコンテンツ開発について支援を行っている旨、ポータルサイト等で周知したところ、地域観光協会より申請があり、開発件数の増に繋がった。								
対応案									
補助事業を公募する段階で、「心身の健康増進や回復に繋がる観光コンテンツ」を事例として挙げることで、ウェルネス関連のコンテンツ開発の促進を図る。									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-④	主な取組名	ウェルネス等に関する観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	地域観光協会等が実施するウェルネス関連のコンテンツ開発を1件支援し、目標達成に寄与した。				
要因分析	今後もウェルネス関連の申請件数を増やすため、「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画」において、心身の健康増進や回復に繋がる観光コンテンツ開発を掲げていることを積極的に発信する必要がある。				
対応案	補助事業を公募する段階で、「心身の健康増進や回復に繋がる観光コンテンツ」を事例として挙げ、申請を促す。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-④	主な取組名	観光統計実態調査	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	観光統計実態調査の実施により、ウェルネスツーリズムの推進に係る施策の企画・立案を促進した。				
要因分析	調査の実施による施策の企画・立案の促進を通して、ウェルネスツーリズムの推進に寄与した。				
対応案	引き続き、調査の実施による施策の企画・立案の促進を図る。				



## 成果指標 検証票

施策名	3-(9)-ア-①	スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
スポーツコンベンション開催実績	件	376	657			592	390.3%	目標達成
			計画値					
			448	520	592			
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課							
達成状況の説明								
<p>令和4年度の実績は657件となっており、目標値を達成している。新型コロナウイルス感染症の影響が続いているものの、感染拡大防止対策を徹底し、安心安全な受入体制を整えることで、実績の増加につながっている。</p>								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底により、実績の増加につながっていることから、より安心安全な受入体制の強化を図る。							
対応案								
<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更になったことに伴い、今後は更なる増加傾向が見込まれるため、引き続き安心安全な受入体制の強化を図る。</p>								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	スポーツコンベンション誘致戦略推進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツコンベンションの誘致に取り組むことで、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底により、安心安全な受入体制を整えることで、実績の増加につながっている。				
対応案	引き続き、安心安全にスポーツコンベンションを実施できる受入体制を整える。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	サッカーキャンプ誘致戦略推進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	サッカーキャンプの誘致・誘客に資する取組や受入施設の環境整備等による継続的なキャンプの開催により、成果指標の進捗に寄与している。				
要因分析	サッカーキャンプは有観客で開催することができたものの、未だ新型コロナウイルス感染症の影響により、観客数はコロナ禍以前を回復していない。				
対応案	受入市町村とクラブとの連携を強化し、観光資源やキャンプ情報を効果的に発信することで、アフターコロナにおけるサッカーキャンプ誘客拡大を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	スポーツコミッション沖縄体制整備	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	各種スポーツキャンプ等の誘致・受入を行うワンストップ窓口として、スポーツコンベンションに係る相談に対応し、実施につなげることで、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	未だ新型コロナウイルス感染症の影響は認められるものの、開催に向けた相談は増加傾向にあり、実績につながっている。				
対応案	スポーツコンベンションの開催を一過性のものにせず、継続的な開催を支援するとともに、本県スポーツツーリズムの受入環境の構築に、引き続き取り組む。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(9)-ア-②		スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数	件	23	44			75	123.5%	目標達成の見込み	
			計画値						
			40	58	75				
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課								
達成状況の説明									
<p>令和4年度の実績は44件となっており、計画値を上回り目標達成の見込みとなっている。沖縄県が実施した事業のほか、民間法人においてもマッチングの機会創出に取り組んでおり、計画の進捗につながっている。</p>									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	目標値を達成するため、引き続き各種取組を推進するとともに、民間法人の動向についても、更なる調査・研究を進める。								
対応案									
<p>民間法人の取組について情報収集に努めるとともに、県が実施する各種施策との連携により、スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開を推進する。</p>									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-②	主な取組名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	活動指標の進捗状況は「順調」となっており、目標値を上回っていることから、成果指標の進捗に寄与している。				
要因分析	スポーツと各種産業が連携した取組を支援することにより、県内事業者のスポーツビジネスへの参画を促し、新たなビジネスマッチングの創出につながっている。				
対応案	今後は取組の拡充に取り組み、スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開を推進する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-②	主な取組名	スポーツ関連産業の展示会誘致・開催	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	令和4年度はスポーツ関連産業の展示会が開催されておらず、成果指標の進捗への寄与は限定的である。				
要因分析	これまでスポーツ関連産業の展示会誘致について働きかけており、令和4年度は開催がなかったが、次年度にスポーツ関連産業の展示会1件の開催予定がある。				
対応案	展示会誘致においては、主催者の意向が重要であることから、関係機関との連携をさらに強化し、引き続き働きかけを行う。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-②	主な取組名	スポーツマネジメント等人材育成	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	活動指標の進捗状況は「順調」となっているものの、情報収集を行っている段階であり、成果指標の進捗への寄与は限定的である。				
要因分析	取組の具体化や予算措置に向けて、情報収集を行っている段階である。				
対応案	収集した情報に基づき、予算措置及び取組の強化について、早急に推進する必要がある。内閣府計上予算による県内の産業人材育成事業の公募においても、スポーツに関連する人材育成事業の提案がなされていることを確認しており、今後は関係機関とより連携を深め、取組を推進する。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(9)-ア-③		スポーツ資源を活用したまちづくり						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
スポーツコンベンション参加者数（県外、海外）	人	10,831	78,467			53,994	470.6%	目標達成	
			計画値						
			25,204	39,621	53,994				
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課								
達成状況の説明									
<p>令和4年度の実績は78,761人となっており、目標値を達成している。新型コロナウイルス感染症の影響が続いているものの、感染拡大防止対策を徹底し、安心安全な受入体制を整えることで、実績の増加につながっている。</p>									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底により、実績の増加につながっていることから、より安心安全な受入体制の強化を図る。								
対応案									
<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更になったことに伴い、今後は更なる増加傾向が見込まれるため、引き続き安心安全な受入体制の強化を図る。</p>									

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-③	主な取組名	県内プロスポーツチーム等ホームゲームへの誘客促進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	県内プロスポーツチーム等ホームゲームへの誘客促進により観客動員数が増加することで、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	県外からの誘客については、県内プロスポーツチーム等のアウェイゲームにおいて、ホームゲームへの誘客促進を図るプロモーション活動を行っている。				
対応案	競技によって観客動員数に差が生じるため、当該競技における効果的な対策の検討が必要となっている。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-③	主な取組名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催（令和5年度）により、成果指標の進捗に寄与する。				
要因分析	令和5年度の開催に向けて、沖縄の子ども達と世界との交流及びトップアスリート等との交流や、大会に向けた機運醸成としてシティドレッシング等を実施している。また、輸送、警備等大会の受入体制、ファンゾーン等の計画を策定した。				
対応案	大会の開催は次年度のため、令和4年度実績への寄与は限定的であるが、次年度は大規模な誘客により、成果指標に寄与するものと見込まれる。				



(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-③	主な取組名	スポーツイベント開催支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツイベントの開催を支援することにより、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	新規のスポーツイベントに対しては補助率を高く設定するなど、仕組みを工夫することにより、実績の増加につながっている。				
対応案	今後は、支援したスポーツイベントの自走化・定着化を図るため、事業者の実施体制の強化等が必要となっている。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(9)-イ-①		スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
県立社会体育施設の利用者数	人	267,379	495,684			671,000	169.9%	目標達成の見込み	
			計画値						
			401,785	536,594	671,000				
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課								
達成状況の説明									
<p>奥武山総合運動場体育施設について、新型コロナウイルス感染症の影響が続いてはいるものの、感染拡大防止対策をとりながら、指定管理者による自主事業（教室・イベント）の拡充等を図ることで、計画値に対し実績値が約94,000人上回る結果となった。</p>									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	指定管理者による施設の管理運営が適切になされており、また、自主事業として開催しているスポーツ教室等は、他種目にわたりターゲット層・時間の設定等も工夫している。								
対応案									
<p>積極的な広報活動も継続しつつ、必要な備品や設備修繕についても、県と指定管理者間で連携しながら利用者の利便性向上に向けた調整を行い、引き続き令和6年度目標値の達成に向けた取組に務める。</p>									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-①	主な取組名	県立社会体育施設の計画的な改修・修繕	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	県立武道館及び奥武山水泳プールの換気設備更新工事等の実施により、施設利用者の安全確保や快適なスポーツ環境の整備が図られたことで、成果指標の達成に寄与している。				
要因分析	県立社会体育施設の機能維持・向上を図ることで、施設利用者のニーズに対応し、利用者数の増加につながっている。				
対応案	今後も社会情勢の変化等を注視しながら、県立武道館等の個別施設計画に基づき、引き続き計画的・効率的に整備していく必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-①	主な取組名	県立社会体育施設の環境整備や接客対応の充実、利用条件の改善、教室・プログラムの充実	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	指定管理制度を導入し、基本協定書に基づき施設の維持管理や運営、教室の開催など民間の能力を活用しながら適切に実施されており、成果指標の達成へ寄与している。				
要因分析	利用者へのアンケート結果においても、スポーツ教室等のプログラムや接客対応等、高い満足度を得ており、利用者数の増加につながっている。				
対応案	多様なニーズに対応できるよう、引き続き指定管理者や関係団体等との連携のもと、利用者の利便性向上に取り組む。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-①	主な取組名	県立学校体育施設の有効活用	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	新たに県立学校の体育施設の開放が可能となった学校数が拡充され、利用団体も増えたことにより、成果指標の達成に寄与している。				
要因分析	身近に利用できるスポーツ活動の場所が増えたことで、社会体育施設利用の機会が広がり、利用者数の増加につながっている。				
対応案	学校体育施設の開放校の増加に向け、引き続き各学校との課題解決に向けた個別調整や利用団体への周知を推進する必要がある。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(9)-イ-②	県民の競技力向上・スポーツ活動の推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県出身日本代表スポーツ選手累計（国際大会）	名	133	151			190	94.7%	目標達成の見込み
			計画値					
			152	171	190			
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課							
達成状況の説明								
<p>令和3年度までの累計から18名増加し、目標達成の見込みとなっており、沖縄県スポーツ協会の競技力向上対策事業により、トップアスリートの育成につながっていると考える。主な競技はハンドボール、ウエイトリフティング、空手道などの6競技である。</p>								
要因分析								
類型	説明							
② 関係機関の調整進展	沖縄県スポーツ協会と連携し、競技力向上対策を進めている。同協会が設置する競技力向上対策委員会において、基本方針を毎年度策定し、強化事業を進めている。							
対応案								
<p>これまでの取り組みの検証を行い、今後はジュニアから社会人までの一貫した育成を視野に各事業の関連性を強化を検討するほか、指導者育成委員会やスポーツ医・科学委員会との連携を図る。</p>								

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-②	主な取組名	県民体育大会運営支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	県民体育大会は本県の全体的な競技力向上につながる重要な大会であり、トップアスリートの育成に寄与する。				
要因分析	レベルの高い同地区・他地区選抜選手との対戦・交流により、技術や向上心に大きな影響を及ぼす。				
対応案	大会を開催するだけでなく、選手の成長につながるような取組を各競技団体と連携し、検討する必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-②	主な取組名	各競技団体選手育成等への取り組み支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	競技団体が主体となって中長期的な選手の育成・強化に取り組んでいる。				
要因分析	少年・成年合同合宿を行うことにより、模範となる先輩選手の技術や練習に取り組む姿勢など、ジュニア選手への影響があり、競技力向上につながっている。				
対応案	本事業の支援を受けていない、他の競技団体についても、主体的に選手育成に取り組むよう、普及・啓発が必要がある。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-②	主な取組名	トップレベル選手育成支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	世界選手権等の国際大会に出場する本県日本代表選手13名(6競技)に対して、奨励金を交付し支援を行った。				
要因分析	本県の日本代表選手の競技環境の支援を行うことにより、代表選手の輩出につながっている。				
対応案	今後も継続して国際大会で活躍する県出身選手の育成強化を図るため、支援の拡充が必要である。				

## 成果指標 検証票

施策名	3-(9)-イ-③		県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
スポーツ実施率	%	58.3	48.1			62.2	-784.6%	達成に努める	
			計画値						
			59.6	60.9	62.2				
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課								
達成状況の説明									
令和4年度の成人・週1回以上のスポーツ実施率は48.1%となっており、令和4年度計画値59.6%との比較では11.5ポイント下回り、達成状況は80.7%に留まっている。									
要因分析									
類型	説明								
⑮ その他個別要因	スポーツ実施率の向上に向け、県民が参加可能なスポーツ・レクリエーション祭の開催や各地域のクラブ等が容易に活動の場を確保することができるよう県立学校の体育施設開放等の取組を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響も続き一部中止となった。								
⑮ その他個別要因	スポーツ実施率調査によると、スポーツ実施のために必要な条件として、「体力的に自信が持てれば」や「生活費に余裕ができれば」といった内生的な要因によるものも多い。								
対応案									
各地域で様々な世代が多く種目に取り組むことのできる総合型地域スポーツクラブを活性化するとともに、スポーツ・レクリエーション祭についても、誰でも気軽に参加できる種目を取り入れた体験型での開催を検討し、県民のスポーツ活動への参加を促す。また、県立学校体育施設開放事業についても、開放校や参加団体の拡充に向け各学校や関係者との連携を強化する。									



(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	総合型スポーツクラブの創設・育成	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	総合型地域スポーツクラブ数は63クラブと目標値を達成しており、幅広い世代の人々が各自の興味関心・競技レベルに合わせて様々なスポーツに触れる機会を提供することで、成果指標の進捗に寄与している。				
要因分析	クラブ訪問を通じた助言・指導や研修会等の実施により、目標値を維持することでスポーツに触れる機会の提供に繋がっている。				
対応案	クラブが地域とともに活発に活動できる環境を整備するため、市町村や関係団体等との連携強化を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	県民の誰もがスポーツに親しむことができる機会の創出	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄県スポーツ・レクリエーション祭への参加者数は、目標値の半数以下となり、成果指標への寄与は限定的である。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症の影響も続いたことで開催種目も一部中止となったことから、参加者数も目標値を大幅に下回り、スポーツの参加の機会も限定的となっている。				
対応案	アフターコロナにおいて、誰でも気軽に参加できる種目を取り入れた体験型での開催を検討する必要がある。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	県立社会体育施設におけるスポーツ・レクリエーション教室の開催	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	開催件数は目標値以上の実績となり、スポーツ・レクリエーション教室への参加がスポーツ実施の契機となることで成果指標へ寄与している。				
要因分析	他種目にわたり成人及び子ども向けの教室を開催しており、アンケートによる参加者の満足度も高いことから、継続的な開催が可能となることでスポーツ実施率の向上につながっている。				
対応案	参加者からの改善要望も踏まえ、今後も継続した開催ができるよう、指定管理者との連携も強化しながら取り組む。				

## 成果指標 検証票

施策名	4-(2)-ア-①	国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）	件	16,015	27,442			31,015	228.8%	目標達成
			計画値					
			21,010	26,020	31,015			
担当部課名	文化観光スポーツ部交流推進課							
達成状況の説明								
JICA等と連携し、オンラインを活用した相互交流や、WEB・SNS等による情報発信、県系人のルーツ調査をはじめとする歴史継承と多言語で行った結果、目標を上回った。								
要因分析								
類型	説明							
① 計画通りの進捗	JICAを含めて関係する事業と連携して掲載記事を増やしたことからそれに伴いアクセス数も増えたと思慮される。							
対応案								
引き続き、関係機関と連携を図りながら、ウチナーネットワークの継承発展に取り組んでいく必要がある。								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	ウチナーネットワークの強化推進	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	第7回世界のウチナーンチュ大会をはじめ、世界のウチナーンチュの日のイベント広報などによりアクセス数の増に寄与した。				
要因分析	第7回世界のウチナーンチュ大会が開催されたこともアクセス数の増に繋がったと思慮される。				
対応案	新聞、ラジオ等の従来型の広報を行いつつ、SNSの活用を更に強化し、国内外への情報発信に取り組んでいく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業	対応課	生涯学習振興課
成果指標への寄与の状況	海外等での移民関係資料の収集、移民ルーツ調査、郷土資料企画展、講演会を実施し、成果指標に寄与した。				
要因分析	当事業の上記の取り組みは、「世界のウチナーネットワーク」サイトにてサイトリンクなどによる周知を図っており、成果指標の推進に繋がった。				
対応案	海外県人会等との連携を強化し、海外においてルーツ調査の受付、調査ができるような体制の構築を支援する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（ウチナーネットワークの多言語情報発信）	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	可能な限り多言語で発信したことにより、特に海外からのアクセス数増に寄与した。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインの活用が進んだことも要因の一つと思慮される。				
対応案	引き続き、関係機関と連携し、有益な情報発信に取り組む。				

## 成果指標 検証票

施策名	4-(2)-イ-①		在住外国人等が住みやすい地域づくり						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
在留外国人数	人	19,839	21,792			21,220	424.6%	目標達成	
			計画値						
			20,299	20,760	21,220				
担当部課名	文化観光スポーツ部交流推進課								
達成状況の説明									
<p>新型コロナウイルス感染症対策に係る水際対策や入国制限が緩和され、海外との往来が活発化してきたこと等により、目標値を上回る結果となった。</p>									
要因分析									
類型	説明								
⑫ 社会経済情勢	<p>新型コロナウイルス感染症対策による水際対策や入国制限が緩和され、海外との往来が活発化してきたこと等により、目標値を上回る結果となった。</p>								
対応案									
<p>引き続き、関係機関と連携を図りながら、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組んでいく必要がある。</p>									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-①	主な取組名	在住外国人の生活支援	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	外国人が地域住民として直面する諸問題に関し、専門的な助言、相談ができる窓口を設置し、多言語による生活・法律相談を実施したことで、成果指標に寄与したと考える。				
要因分析	在住外国人の生活支援を行うことで、在住外国人が県内で生活しやすい環境を整備し、在住外国人数の増加につながったと考える。				
対応案	本取組が成果指標への着実な寄与につながるよう引き続き取組を実施していく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-①	主な取組名	リーガル・ライフサポーターの養成	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	外国人から寄せられる多岐にわたる相談に対して、専門的な「通訳者」として支援対応する「リーガル・ライフサポーター」を育成するための講座を実施したことで、成果指標に寄与したと考える。				
要因分析	リーガル・ライフサポーターを養成することで、在住外国人が県内で生活しやすい環境を整備し、在住外国人数の増加につながるがったと考える。				
対応案	本取組が成果指標への着実な寄与につながるよう引き続き取組を実施していく。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-①	主な取組名	災害時外国人支援サポーターの養成	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	防災・減災に対する意識を高め、島嶼県である沖縄の地域防災力の向上を目指し、災害時に外国人へ寄り添うことができる「災害時外国人支援サポーター」を育成するための講座を実施したことが考えられる。				
要因分析	災害時外国人支援サポーターの養成することで、在住外国人が県内で生活しやすい環境を整備し、在住外国人数の増加につながったと考える。				
対応案	本取組が成果指標への着実な寄与につながるよう引き続き取組を実施していく。				



## 成果指標 検証票

施策名	4-(2)-イ-②		県民の異文化理解・国際理解の促進					
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数）	件	2,697	2,683			3,417	-5.8%	達成に努める
			計画値					
			2,937	3,177	3,417			
担当部課名	文化観光スポーツ部交流推進課							
達成状況の説明								
<p>R4の実績値は計画値から254減となった。同値はHPアクセス数である。フェスティバルはコロナ禍でオンライン開催からR4は来場型となったため、非オンラインの来場者の増がオンラインの減に現れたものと思われる（来場者1,488名、HPアクセス数2,683件）。両者の合計は4,171であり、国際協力・交流への理解促進に順調に寄与しているものとする。非オンライン来場者の成果指標への追加は今後検討したい。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑥ その他個別要因	成果指標は、コロナ禍に実施されたフェスティバルに係るHPアクセス数としたが、R4は来場型の開催となったため、来場者の増がオンラインの減に現れたものと思われる。							
対応案								
<p>R4開催は、来場者1,488名及びHPアクセス数2,683件であり合計は4,171であった。国際協力・交流への理解促進に順調に寄与しているものとする。成果指標に非オンライン来場者を含めるか否かは今後検討したい。オンラインアクセス数の増は重要であり引き続き効果的な広報等に取り組む。</p>								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-②	主な取組名	多文化共生社会に向けた県民向けの取組	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	多文化共生社会に向けた県民への普及啓発が進むことが、県民の国際協力・交流への理解促進にも繋がると考えており、成果指標に寄与していると考えます。				
要因分析	今回のフェスティバルは非オンライン来場者を含めると計画値を上回っており、多文化共生社会関連の取組が寄与できているものと考えます。				
対応案	本取組が成果指標への着実な寄与に繋がるよう引き続き取組を実施していく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-②	主な取組名	国際交流員による異文化理解促進	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	国際交流員による県民への出身国紹介等の異文化理解促進が進むことにより、県民の国際協力・交流への理解促進に繋がると考えられ、成果指標に寄与しているものと考えます。				
要因分析	今回のフェスティバルは非オンライン来場者を含めると計画値を上回っており、国際交流員による異文化理解促進の取組が寄与できているものと考えます。				
対応案	本取組が成果指標への着実な寄与に繋がるよう引き続き取組を実施していく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-②	主な取組名	外国人による意見発表等を通じた異文化理解・国際理解の促進	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	外国人による意見発表等を通じた異文化理解促進が進むことにより、県民の国際協力・交流への理解促進につながると考えられ、成果指標に寄与しているものとする。				
要因分析	今回のフェスティバルは非オンライン来場者を含めると計画値を上回っており、外国人による意見発表等を通じた異文化理解促進の取組が寄与できているものとする。				
対応案	本取組が成果指標への着実な寄与につながるよう引き続き取組を実施していく。				

## 成果指標 検証票

施策名	4-(2)-ウ-①		観光交流、経済交流等の推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
MICE開催件数	件	490	958			1,863	102.4%	目標達成の見込み	
			計画値						
			947	1,406	1,863				
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課								
達成状況の説明									
令和4年に県内で開催されたMICEは958件で、コロナによるイベント開催制限緩和に加え、沖縄アリーナや那覇文化芸術劇場なは一と等の新たなMICE施設の開業、MICE施設と近隣ホテル等連携による大規模MICE受入事例の増加等により計画値を上回った。									
要因分析									
類型	説明								
① 計画通りの進捗	コロナによるイベント開催制限緩和に加え、沖縄アリーナや那覇文化芸術劇場なは一と等の新たなMICE施設の開業、MICE施設と近隣ホテル等連携による大規模MICE受入事例の増加等								
対応案									
今後も県内関係機関・事業者と連携してMICE参加者の増に努め、経済効果の増加に繋げる。									

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	MICE誘致の実施 (コンベンション)	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	大学などローカルホストへのサポート、学会、FAMツアー、コンベンション専門商談会への出展などを実施した。				
要因分析	学会等のコンベンションについては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたものの、対面形式とオンラインを活用したハイブリッド方式による開催が進み、開催件数も回復傾向にある。				
対応案	ハイブリッド形式による開催が定着する一方、対面形式の重要性も再認識されており、今後も開催件数、参加者の増に努める。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	スポーツコンベンション誘致戦略推進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツコンベンションの誘致に取り組むことで、スポーツコンベンション開催件数の増加に寄与している。				
要因分析	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底により、安心安全な受入体制を整えることで、実績の増加につながっている。				
対応案	引き続き、安心安全にスポーツコンベンションを実施できる受入体制を整える。				

## 成果指標 検証票

施策名	4-(2)-ウ-②	沖縄の文化を通じた交流						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
県が支援した文化交流イベントの参加者数	人	5,878	26,005			73,500	89.4%	達成に努める
			計画値					
			28,396	50,982	73,500			
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課							
達成状況の説明								
<p>新型コロナウイルスの蔓延により中止・延期となっていた各種イベントが再開されつつあり、基準値から増加したものの、計画値には満たない状況である。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑫ 社会経済情勢	<p>新型コロナウイルスの蔓延により中止・延期となっていた各種イベントが再開されつつあるが、未だ道半ばであり、今後の情勢を注視する必要がある。</p>							
対応案								
<p>当面は、目標値としているコロナ禍前の水準まで戻せるよう、引き続き、各種取り組みを行っていく。</p>								

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	旅行商品造成プログラムモデルを構築し、情報発信することで、文化資源をアピールする契機となった。				
要因分析	沖縄の歴史と文化への理解が深まることにより文化交流を推進することができた。				
対応案	外国人観光客向けに多言語による発地での情報発信を行うなど、情報発信を強化していく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業（歴史・文化ワークショップ）	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	ワークショップ等を実施したことにより、県民の沖縄の歴史と文化への理解が深まった。				
要因分析	沖縄の歴史と文化への理解が深まることで、文化交流を推進することに繋がる。				
対応案	引き続き、ワークショップ等を実施するとともに、情報発信を強化していく。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	高校生伝統芸能分野海外就業体験事業	対応課	文化財課
成果指標への寄与の状況	就業体験を通して職業理解が深まるほか、現地高校生との伝統芸能交流や現地県人会との交流を通してネットワークの形成に寄与している。				
要因分析	研修終了後の翌年度も高文連主催の郷土芸能に関するコンテスト等へ参加する生徒も多く、郷土芸能の伝承と発展に大きく貢献している。				
対応案	引き続き、伝統芸能を活かした観光産業や歴史的・文化的施設での就業体験を実施するほか現地高校生との伝統芸能交流や現地県人会との交流を通してネットワークを構築する。				



## 成果指標 検証票

施策名	5-(5)-イ-①		多彩で質の高いサービスを提供できる観光産業人材の育成・確保						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
宿泊事業者（正規雇用者）一人当たりの平均年収	円	3,129,946	3,555,318			3,533,709	316.4%	目標達成	
			計画値						
			3,264,399	3,399,256	3,533,709				
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課								
達成状況の説明									
令和4年度の実績値においては、計画値および目標値ともに上回る実績となっており、目標を達成した。									
要因分析									
類型	説明								
⑨ 人手・人材不足	宿泊事業者においては、コロナ禍における離職と需要の回復に伴い、人手不足が課題となっていることから、人材確保に向け、賃上げに取り組んだ事業者が多かった。								
対応案									
コロナ禍における離職と需要の回復に伴う人手不足の影響により、需要の取りこぼしが生じていることから、観光業界における人材確保・定着に向け支援する必要がある。									

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組				
施策番号	5-(5)-イ-①	主な取組名	高度な観光人材の育成	対応課 観光振興課
成果指標への寄与の状況	新任層や現場リーダー層向けに、キャリアデザインやマネジメント等を習得できる研修を実施することにより、人材の定着が図られ、稼働率が上昇するとともに収益向上につながり、賃上げしやすくなることから一定程度寄与するものとする。			
要因分析	上記研修を実施することにより、人材の定着が図られ、稼働率が上昇するとともに収益が向上し、賃上げにつながっていると考える。			
対応案	引き続き、人材の定着に資する取組を実施していく。			
関連する主な取組				
施策番号	5-(5)-イ-①	主な取組名	観光人材確保に向けた支援	対応課 観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光事業者と求職者のマッチングを促進し、人材の確保を図ることで、稼働率が上昇するとともに収益向上につながり、賃上げしやすくなることから一定程度寄与するものとする。			
要因分析	人材確保に取組むことにより、稼働率が上昇するとともに収益が向上し、賃上げに繋がっていると考える。			
対応案	引き続き、観光人材の確保に向け支援していく。			

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	5-(5)-イ-①	主な取組名	沖縄観光受入対策事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	教材配布により、多彩で質の高いサービスを提供できる観光産業人材の育成・確保に繋がったと考えている。				
要因分析	新型コロナウイルス感染症の影響で学校での学習時間が限られたことにより、これまでと比べて出前講座が実施できていないことが考えられる。				
対応案	アフターコロナにおける観光客の回復が見込まれるため、教材を積極的に活用した取組を検討する。				